

地方史情報

093

2009年9月

死を観じて生を想う—境界のイマジネーション 山本 聡美

野にうち捨てられた死体が腐敗し、白骨となって朽ち果てていく。この強烈な主題の絵画を九相図と呼ぶ。

「九相図」と「九想図」、この絵には二つの表記があり、その源流は仏典にある。出家者は、自己の姿を飾って美しく立派に見せたい欲求や他者への性欲など、悟りの妨げとなる自他の肉体への愛染を除かなくてはならない。肉体が執着するに値しない不浄なものであると知るために、死体が腐敗し骨となって朽ち果てていく様相を、九つの段階に分けて観想することを九相観（九想観）と言い、諸経典に広く説かれている。九相図とは元来、九相観の対象である死体を経説に則って表わした図像である。相〈イメージ〉は眼で見た世界、想〈イマジネーション〉は心の中にある世界を指す。肉体が消滅する過程の無限に分節可能なシークエンスを、九つの位相で鮮やかに切り取った即物的モチーフの上に、生と死、性と生、聖と俗、男と女といった対極的な世界の境界が立ち現われる、それが九相図である。（中略）

この様な状況を踏まえて本書では、鎌倉時代から江戸時代初頭にかけて成立した、現在確認されている全ての掛幅・絵巻・版本九相図についてカラー図版と影印を掲げた。現存する九相図を集成することによって、日本文化の根底に一貫して存在していた、死体の美術と文学の水脈が見えてくるはずである。また、経典や漢詩そして和歌という多様なテキストと密接に結び付く九相図に対して、本書では美術史学と国文学という二つの領域からアプローチした。

巻末の論考編において、美術史学の立場からは、山本聡美が九相図の典拠や日本における展開について概観を述べた上で、相澤正彦が室町時代の作例に関する絵画様式や絵師の問題を論じた。土佐派・狩野派という、それぞれやまと絵と漢画の頂点に位置する二大流派による作品の分析を通じて、上層社会における「九相詩絵巻」制作の実態が浮かび上がってくる。また国文学の立場からは、西山美香が檀林皇后や小野小町説話を通じて女性の信仰と九相図との関わりを論じ、林雅彦が絵解きにおける九相図の役割について明らかにした。中近世転換期において、九相図は高貴な女性をめぐる説話と結びつき、版本の普及や絵解きを介してそのイメージが広範に流布した。

（山本聡美・西山美香編『九相図資料集成』、2009.2、小社刊、「序」より）

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆アイヌ語地名研究 アイヌ語地名研究会
(発売：北海道出版企画センター)
〒061-1448北海道恵庭市相生町179-5 ハ
ウスオブ恵庭105 渡辺隆方 TEL0123-34-
2130 年5000円
◇11 2008.12 B5 181p 2000円
アイヌ語地名の平等な併記に向け
て—アイヌ語地名研究の目的と
意義 小野 有五
白老川本流流域のアイヌ語地名 榊原 正文
稚内声間(幕別)川流域のアイヌ語
地名 宮崎 耕太
伊能間宮蝦夷図の石狩勇弘横断ル
ートの地名(2) 井口 利夫
続クナシリ島の地名—クナシリ場
所東西里数并川々所々小名漁
場、安政四年佐倉藩士による記
録 吉田千萬／本田克代
松浦武四郎文献における空知の
「アイヌ古道」(3) 平 隆一
松浦武四郎文献の特色と山の呼称
渡辺 隆
南サハリンにおける sian(本流)と
moan(支流) 伊藤 せいち
アイヌ語地名の魅力・その分類(3)
—動物・鳥・草・樹木の名
のついたアイヌ語地名 三好 勲
熊本県のアイヌ語地名「田子山」
について 清水清次郎
難読現地名「梅花都」と旧地
名「潮路」「咎別」 横平 弘

アイヌ語と日本語の起源……
一つの試み 鳴海日出志
談話室 山の名ヌプリとシリ

◆アイヌ語地名研究会会報
〒061-1448北海道恵庭市相生町179-5
ハウスオブ恵庭105 渡辺隆方
TEL0123-34-2130 年5000円
◇34 2008.12 B5 8p
アイヌ語地名の話題、新聞の一面
を賑わす
早田国光著『十勝アイヌ語地名手
帖』紹介 井口 利夫
会報第33号における斉藤和範会員
の記載について 平 隆一
アイヌ語地名(河川名)の看板紹介
／図書・会誌・会報・論文など
の紹介

◆屯田 北海道屯田倶楽部
〒063-0005札幌市西区山の手五条3-2-11
TEL011-644-4722
◇44 2008.10 B5 36p 1000円
巻頭言 中国の北京五輪と華僑 新國 辰男
屯田兵村公有財産をめぐる(2)
あくまで法人化を目指した篠津、
新琴似兵村 河野 民雄
好評でしたカルチャーナイト2008
講演会「琴似屯田とその時代」、
スライド上映「西南戦争ゆかり
の地巡り」
自転車で北海道の史跡を巡る(2)
中神 哲二

屯田兵村自治機関の諸法令 河野 民雄
新刊紹介「板垣死すとも」と空
知集治監—自由民権運動の囚人
たち／「新たな北へ—会津屯
田兵の物語」 若林 滋
平成20年度定期総会報告

◆文化情報 北海道文化財保護協会
〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目
かでの2・7ビル9階 TEL011-231-4111
www10.ocn.ne.jp/~bunkazai/
◇310 2008.11 B4 4p
道文化財保護功労賞を贈呈
個人 向井・青山両氏に
団体 帯広カムイトウウボボ保
存会と大野文化財保護研究会
白糠町で、子ども文化財愛護活動
平成20年9月26日「文化財講演会
抄録」都心にあったまぼろしの
川と穴居跡—旧琴似川流域の
遺跡と高畑宜一 上野 秀一
文化の新しい風 北海道遺産(23)
流水から見えてくる地球環境
北海道遺産構想推進協議会
北海道文化財保護強調月間実施事
業 函館市／登別市／根室市
旧宗谷村 舟山 廣治
炭鉱よもやま話(64)
財政破綻と炭鉱文化 青木 隆夫
旧上藻別驛通所を資料館に 池澤 康夫
◇311 2009.1 B4 8p
知床の世界遺産登録と天然記念物
指定鳥類 中川 元
新春を迎えて 文化財と博物館 舟山 廣治
馬場昭さんを偲んで 竹田 輝雄
「北海道・北東北の縄文遺跡群」
が世界遺産暫定一覧表に追加記
載 長沼 孝

「力強さ」「優しさ」「美しさ」高
文連全道郷土研究発表大会から
文化の新しい風 北海道遺産(24)
「北海道スタンプラリー」の意外
な応募結果 北海道遺産構想推進協議会
博物館物語(1) 岩内郷土館 ニ
シン御殿ふうの建築 森 柳司
厚真町で「子ども文化財愛護活動」
炭鉱よもやま話(65) 牛と炭鉱 青木 隆夫
北海道文化財保護強調月間実施事
業
各団体の活動(1) 釧路市立博物
館 炭鉱のあるマチ・あったマ
チ、釧路でのとりくみ 石川 孝織

◆北海道史研究協議会会報
〒001-0018札幌市北区北十八条西6丁目
2-47 北海道出版企画センター内
TEL011-737-1755
◇83 2008.12 B5 24p
古文書を読む 赤人の鉄砲は？
—寛政11年 高橋重賢の記録 田端 宏
河野常吉のフィールドノート(野
帳)と地域史研究 関 秀志
研究大会報告要旨
虚説「南部藩士による室蘭南部
陣屋の焼棄と撤退」を検証す
る 小田島 洋
『新羅之記録』における松前藩
の意図について 川端 裕介
開拓使時代の農業問題について
富士田金輔
開拓使仮学校のカリキュラム 井上 高聡
資料はどこにあるか 北海道大学
大学文書館について 井上 高聡
資料・文献の紹介 白戸仁康『海
道の捕虜収容所—もう一つの戦
争責任』 中村 英重

地域史の窓

平成20年度地域史研究会(余市町)報告 研 修 部
『北海道の出版文化』の刊行 出村 文理

◆北方民族博物館だより

〒093-0042北海道網走市潮見309-1
TEL0152-45-3888 hoppohm.org
◇71 2008.12 A4 8p
第23回北方民族文化シンポジウム 斎藤 玲子
ロビー展 北海道文化財保護強調
月間協賛事業「世界の口琴」 中田 篤
ワークショップ「素晴らしき口琴の世界 演奏体験とコンサート」 中田 篤
アイヌ文化講習会「キナ織り」 斎藤 玲子
北海道博物館紀行 白滝郷土館 角 達之助
調査・研究
カムチャツカ調査報告
—サケ孵化場の訪問 渡部 裕
サハ共和国調査 中田 篤

◆松浦竹四郎研究会会誌

〒001-0018札幌市北区北十八条西6丁目
TEL011-737-1755
◇54 2008.12 B5 18p
松浦武四郎往返書簡(38) 秋葉 實
選集別巻補遺／幕末明治初期官制比較表

◆八戸地域史 八戸歴史研究会

〒039-1164青森県八戸市下長2-7-19
三浦忠司方 TEL0178-38-7376
◇45 2008.12 A5 54p 800円
口絵 羽仁もと子の家計簿
現代に見る羽仁もと子の家計簿 田代 優子
八戸城の築城計画—「御城御普請

向伺之覚」より 中野渡一耕
八戸藩の村役人制度—名主・大下
書・田屋について 三浦 忠司
書評 『邪宗門昌益』 本田 敏雄

◆いわて文化財 岩手県文化財愛護協会

〒020-0102岩手県盛岡市上田字松屋敷34
岩手県立博物館内 TEL019-661-9688
◇228 2008.11 B5 8p
マルタ島の慰霊塔 佐藤 宏
県民俗芸能団体協議会が発足
活動の狙いと方向 県教育委員会事務局
一関「大乘寺」のオシラサマ 工藤 紘一
紫波町内の文化財
保存と活用のグループ 桜井 芳彦
永井の大念仏剣舞
「笠揃え」の意義と今後 小笠原秋男
青少年民俗芸能フェスティバル
八百余人が鑑賞
岩手県民俗芸能大会 衣川で
三百人が、飲食しながら楽しむ

◆国史談話会雑誌 東北大学国史談話会

〒980-8576仙台市青葉区川内27-1
東北大学文学研究科日本史研究室気付
TEL022-795-6064
www.sal.tohoku.ac.jp/nihonshi/
◇49 2008.11 A5 147p
俘囚身分の成立 古垣 玲
古代陸奥国栗原郡と仏教—双林寺
所蔵棟札を中心として 大宮めぐみ
古代伝馬制の利用について 小滝 雅人
鎌倉幕府の鎮西支配と裁判 倉本 大樹
近世後期越後縮布流通の一考察—
縮問屋加賀屋の江戸・京出役を
中心に 宮田 直樹
「軍都」仙台の慰霊—「賊軍」の解
消と「軍都」への転換 菅原 朋浩

歴史通信

「大学アーカイブズ」雑感 永田 英明
紹介 『鹿沼市史』(通史編・近現代)
菅原 朋浩

◆仙台郷土研究 仙台郷土研究会

〒980-0014仙台市青葉区本町2-20-2 斎藤
報恩会内 TEL022-223-2617 年3000円
sendaikyoudo.blog77.fc2.com
◇277 (33-2) 2008.12 A5 64p 1800円
平泉諸寺院の系譜(1) 名村 榮治
刈田郡の白石氏 伊達秘話
—仙台藩を支えた梁川伊達氏 梁川 幸子
幕末・蒲蘆館の人々(下) 小笠原康隆
明治の商用書簡より 大西恵美子
私の報告
岩切郵便局と松島村旅籠・扇屋
の資料 京野 英一
宮城県中部の猫神社 石黒伸一郎
巡見会報告 初秋や兵どもの夢
の@小浜城—白河の関と伊達
氏合戦の地をめぐる 鹿倉 航
史跡見学会報告 名取の歴史探
訪—東街道めぐり 岩淵 孝
明治24年日本鉄道会社時刻表

◆仙臺文化 『仙臺文化』編集室

〒982-0021仙台市太白区緑ヶ丘1-19-6
渡邊慎也方 TEL022-249-6530
◇8 2008.11 A4 24p 700円
《特集 仙台の近代印刷》
表紙の物語(8)
仙台発刊の雑誌いろいろ
仙臺人追慕(8) 進取の気性で西
蔵活字を鑄造 笹氣幸助
12人が選んだ「私の誇る」刊行物
40点

仙台における印刷・出版事情—明

治～昭和初期 伊勢 民夫
街の文化を記録し伝え140年
仙台印刷界140年のあゆみ(仙台印刷
刷業略年表) 渡邊 洋一
出版の自由を得て—活気あふれる
印刷界 1946～55
仙台の工芸(8) 仙台の染物デザ
イン—常盤紺形木綿染めⅡ(秋
保の仕事着) 庄子 晃子
街の賑わい(8) マッチラベルで
見る昭和初年(8) 仙台名産・
仙台みやげ
東京便り(8)
紙面の向こうにも人がいる 服部 夕紀
街のともし火(4) 常盤型伝承館
仙台のお菓子(8) 日本の美味
仙台の誇り 白松の栗ヨーカン
付録「仙台鉄道・秋保電車」沿
線案内



* 仙台の近代印刷を特集する。仙台生まれの雑誌、チベット活字の鑄造者笹氣幸助、会員が選んだ仙台刊行の誇るべき近現代印刷物40点、仙台における明治～昭和前期の印刷・出版事情、同じく印刷界140年の歩み、印刷物が伝える町の変遷を紹介する。たくさんの美しい貴重な写真や石版画、書影を眺めるだけ

でも楽しい。

仙台生まれの雑誌第1号は、箱館に学んだ仙台藩士のロシア正教徒たちが、明治10年3月に創刊した「講習餘誌」で、宗教論のみならず、オルガンによる西洋音楽の普及、幼稚園開設による児童の早期教育論など、その後実現された実践的な論考により、仙台の文明開化に大いに資するものがあったという。また、12年には、ヨーロッパに学んだ宮城病院長で外科医の赤星研蔵が、近代医学の普及のため、「宮城病院雑誌」を刊行した。手術例、症例研究、投薬状況、入院経過など本格的な専門誌であった。笹気出版印刷株式会社二代社長の笹気幸助(明治42～平成4)は、美しい活字造りと印刷術の開発に努め、活字博士と称せられ、渋沢栄一資料集全68巻などを手がけた。中でも、昭和28年刊行の『西蔵撰述佛典目録』では、世界ではじめてチベット文字を活字化するという偉業を成し遂げた。こうした、多様で先進的な印刷・出版の様相を見ると、仙台がまさに文化の都であることが実感される。

◆東北文化研究所紀要

東北学院大学東北文化研究所
〒980-8511仙台市青葉区土樋1-3-1
TEL022-264-6430
◇40 2008.12 B5 96p
近代墓地法制の形成・展開と墓地慣行との軋轢(1)―旧城下仙台を中心にして 岩本 由輝
関のかなた―都とみちのく 補足 野崎 準
栗原市高清水「仰ヶ返り地蔵前遺跡」の調査研究(3)―鎌倉時代日本最北の瓦窯跡の構造の解明 佐川正敏／藤原二郎
縮小化にある白石温麺産地の存続

基盤の諸特徴 酒井宣昭／鈴木早百合
イヌワシの棲む山
―自然と人為の狭間に 鈴木 卓也
◇別冊 2008.12 B5 157p
境澤文書目録

◆秋田地名研究年報

〒019-2112秋田県大仙市刈和野愛宕下167
新谷正隆方 TEL0187-75-2717
◇24 2008.12 A4 29p 500円
浅内はアイヌ語地名か
―地域の古代史から検証する 木村 清幸
古代の能代を探る(1)
―先住民はだれか 渡部 耕輝
古代の能代を探る(2)
―アイヌは先住民ではない 渡部 耕輝
古代製鉄・雑考
―原始は沼鉄とカトウ? 渡部 耕輝

◆菅江真澄研究 菅江真澄研究会

〒011-0901秋田市寺内兎桜1-5-55
古四王神社社務所内 TEL018-845-0333
w2.amn.ne.jp/~sugae/masumi.html
◇66 2008.12 B5 20p
菅江真澄翁百八十年祭を終えて 亀井 宥三
菅江真澄・ウトウの記録 武沢 和義
菅江真澄と良寛兄弟(1)
『来目路の橋』と良寛(続) 北島 隆一
菅江真澄と八郎湯展
図書紹介
『詩集 久遠』安永稔和著
真澄短信
菅江真澄を追って 佐藤 莉子
『月の出羽路』大仙市西仙北版発刊
菅江真澄を詠む 辻桃子／他
秋田の式内社を巡る 田口 昌樹
法興寺 立待つ月 田口 久義

◆鷹巣地方史研究 鷹巣地方史研究会

〒018-3302秋田県北秋田市栄字前綱101-2
河田正治方 TEL0186-62-0242 年2000円
◇63 2008.10 A4 62p 1000円
胡桃館遺跡の調査について 榎本 剛治
門屋養安と阿仁地域
―養安日記を通して 庄司 博信
安政二郎・歌碑の紹介 “豊葦原瑞穂国に生れ来て米が食へぬとは嘘のよな話” 中嶋 忠輝
総会講演
北比内鷹巣村の台頭について 永井 高道
現地研修 男鹿市史跡探訪 照内 捷二
母・小林操の思い出 小林 恵一
小林操さんのこと 丹波 望
商家の今昔 嶺脇シズエ
濁川街道通り抜け 桜田 俊
我が古里の遺産、森吉山の自然 熊谷 凌
戊辰戦役の薬莢 桜田 俊
婆と孫との対話(呼称―大東亜戦争―は死語か) 寺田 ヤシ
高鷹大学ふるさと研究講座二編
長寿のお祝い／三行半 桜田 俊
自慢の大路の話(1)
坐り不動の話(2) 編集部

◆季刊東北学

東北芸術工科大学東北文化研究センター
〒990-9530山形市上桜田3-4-5
TEL023-627-2168 年10000円
www.tuad.ac.jp/tobunken/ (発売:柏書房)
◇17 2008.11 A5 214p 2000円
《特集 在日という〈希望〉》
対談 在日をどう考えるか―「マラーノ」という言葉をめぐって 四方田犬彦／赤坂憲雄
「国民」・「国籍」私の場合 金石 範
在日を考える 存在の二重性とニ

ユーカマーとの比較 崔 吉 城
旅や浜宿い 草ぬ葉と枕 姜 信 子
在日コリアン新世代のエスニック・アイデンティティと未来 新
たな意識調査を手掛かりに 朴 一
在日の生きる断片 李 朋 彦
在日女性詩の混成的想像力 フェ
ミニズムとポストコロニアリズム
ムの潮流の中で 佐川 亜紀
求めてやまないもの ソコクと舞踊の向こうにあるものを探して 金 利 恵

済州島されざれ
何処何様如何草紙(7) ばくきょんみ
日本民間信仰史研究序説(14)
夙猿楽と盲僧琵琶 谷川 健一
民俗学の眼(4)「秘密基地」の魅力 民俗的教育力(4) 野本 寛一
済州島の民俗(17) 放牧牛と綱牛
について―生業民俗論(10) 高 光敏
人間学としての考古学(4)
ヒトの祖先 安斎 正人
モノからみる韓国(5) パガジ 李 恵燕
ラオス 山からの伝言(17)
貧乏自慢 安井 清子
絵はがきに見る東北日本・アジア
(2) 韓国文化の風景 東北文化センター
「食べて保全」の地を歩く(時評) 田口 洋美
モダンなものと突き当たり(時評) 森 繁哉

◆南陽の歴史を知る会会報

〒999-2232山形県南陽市三間通361-8
須崎寛二方 TEL0238-43-5290
◇163 2008.2 B5 14p
お触書から見た米沢藩農村の戊辰戦争(上) 須崎 寛二
暫らく 文蔵の生い立ち 丹野虎次郎

最上合戦と北條郷地侍―第183回
 学習会報告
 第184回学習会・第185回学習会報
 告
 2007年会報総目次
 2008年南陽の歴史を語る会 総会
 議案
 ◇164 2008.4 B5 10p
 お触書から見た米沢藩農村の戊辰
 戦争(下) 須崎 寛二
 米沢藩の農村支配と北條郷
 ―第186回学習会から
 総会から
 ◇165 2008.6 B5 14p
 08年5月 臨雲文庫表門について 板垣 昭次
 江戸時代初期の北條郷(南陽市)の
 開発(上)―第187回学習会から
 梨郷舟渡し賃は16文だった 須崎 寛二
 ◇166 2008.8 B5 10p
 江戸時代、羽付・平家の酒造業経
 営の一面 須崎 寛二
 宮内病院の前史 須崎 寛二
 ぶんまわし 須崎 寛二
 梨郷小学校の「天の橋立」 須崎 寛二
 江戸時代初期の北條郷(南陽市)の
 開発(下)―第188回学習会から
 ◇167 2008.10 B5 10p
 池黒学校の分離独立事件―私が小
 学校1年生の頃の思い出 高橋 肇
 宮内・漆山の製糸工場の一面 須崎 寛二
 黒緞者 須崎 寛二
 第189回学習会の報告 第4節 寛
 永の総検地と北條郷の農民(前)
 武士・百姓・商人の借金証文から
 時代を読む 須崎 寛二

◆真澄学
 東北芸術工科大学東北文化研究センター

〒990-9530山形市上桜田3-4-5 TEL023-627-
 2168 www.tuad.ac.jp/tobunken/
 ◇4 2008.11 A5 316p 2100円
 下北の旅から 細川 純子
 菅江真澄と三河の文人たち 塚本 学
 菅江真澄の地誌―和歌を詠みなが
 ら領内を巡覧する藩主 錦 仁
 菅江真澄の耳の位置 川島 秀一
 菅江真澄と平泉 千葉 信胤
 岩木山と花若殿・安寿姫の物語 入間田宣夫
 真澄に三代がつきあって八十年 胡桃沢勘司
 菅江真澄の著作と学問について 菊池 勇夫
 注釈『かすむこまかた』
 現代語訳 細川 純子
 註 釈 川合正裕／井筒桃子
 西脇千瀬／佐藤隆士
 渋田家真澄文書と渋田家
 渋田昌平／渋田三孝
 小正月の祝い棒とそのかたち―秋
 田の「火焚棒」の記録から 今石みぎわ
 菅江真澄の人生
 「ちしまのいそ」の和歌世界 細川 純子
 菅江真澄から近代史をさぐる(4)
 馬と牛―下北半島を中心に 菊池 勇夫

◆まんだら 東北文化友の会会報
 東北芸術工科大学東北文化研究センター
 〒990-9530山形市上桜田3-4-5
 TEL023-627-2168 年10000円
 www.tuad.ac.jp/tobunken/
 ◇37 2008.11 B5 64p
 巻頭特集 東北芸術工科大学オー
 プンキャンパス企画・歴史遺産
 学科模擬授業 「もののけ姫」
 から歴史・民俗・考古の世界へ
 安齋正人／入間田宣夫
 ／田口洋美／赤坂憲雄
 教授陣による推薦本 「もののけ

姫」から歴史・民俗・考古の世
 界へダイビング
 公開ゼミナール 高校生のための
 地域学ゼミナール in 肘折温泉
 保科俊貴／相澤彩夏／千葉和子
 フィールドレポート
 骨寺村荘園遺跡を巡って 服部友里子
 男鹿半島の集落調査 遠藤 紫緒
 高島町にある北目古墳発掘調査
 長澤 紗樹
 悪石島に滞在して 砂山 研貴
 私のみた瞽女 盛永 未来
 東北ルネサンス・プロジェクト
 in 仙台報告 赤坂憲雄対論「東
 北・知の系譜」／小説家・ライ
 ター講座／編集者講座
 文学者たちの山形(17)
 打海文三の戦争小説 池上 冬樹
 聞き書き・知られざる東北の技
 (17) 養蜂家の宮腰久輔さん 野添 憲治
 東文研アーカイブス通信(6) 歴
 史学の視点から・震災と資料保
 全 竹原 万雄
 地域づくりの現場を訪ねて(27)
 もうひとつの温泉、地域物語。森 繁哉
 フィールド・ワークの現場から
 (5) 鉄と鋼 岸本 誠司
 特別寄稿
 耕源寺の在る山の名を尋ねて 井関 伸一
 地域誌だより(10)
 ジャワメグ磁場の深層 杉山 睦子
 地域を歩く 滝沢真喜子
 『仙台、言葉の幸。せんだい
 現代文学案内』で文学散歩 千葉 由香
 楢枯れと『会津学』4号発刊、
 夏季講座 菅家 博昭

◆山形民俗 山形県民俗研究協議会

〒990-0826山形市霞城町1-8
 山形県立博物館 押切智紀気付
 ◇22 2008.11 A5 55p 700円
 川を渡る疱瘡神 大友 義助
 「鮭の大助譚」成立についての一
 仮説 村田 弘
 鳥海山の競争論と装束場 岩鼻 通明
 村山地方の「山立根元之巻」 市村 幸夫
 餓鬼仏・無縁仏供養の歴史の実態
 菊地 和博
 山形市山寺・千手院の中世石造美
 術―長野・後藤家の中世石造美
 術を中心に 加藤 和徳
 最上地方からの湯殿山まいり―大
 日坊大蔵出張所奉納大絵馬をめ
 ぐって 野口 一雄
 県内の主な民俗関係出版物
 山形県民俗研究協議会関連記事

◆米沢史学 米沢史学会
 〒992-0025山形県米沢市通町6-15-1
 山形県立米沢女子短期大学日本史学科内
 TEL0238-22-7330
 ◇24 2008.10 B5 143p
 講演 姓・名字・名前に探る日本
 の歴史―身近な事象から歴史を
 考える 大藤 修
 山形県米沢市成島の近世窯業の研
 究 高橋 拓
 中部・北陸地方の名主座について
 蘭部 寿樹
 山口県における名主座について 蘭部 寿樹
 史料紹介 庄内藩大工棟梁小林家
 文書(6) 吉田 欽
 新刊紹介
 松田澄子著『子安学級から農繁
 託児所へ 最上・庄内地区編』
 布施 賢治

荻生茂博著『近代・アジア・陽明学』 蘭部 寿樹
史聚会『史聚』第39・40合併号
創立30周年記念号 吉田 歆

関 東

◆茨城の民俗 茨城民俗学会
〒310-0036茨城県水戸市新荘2-8-16
TEL029-231-4665 年3000円
www.minzoku.net
◇47 2008.11 B5 97p
《特集 『常陸国風土記』》
『常陸国風土記』における「国巢」
(国栖)と「佐伯」 松崎健一郎
『常陸国風土記』—概要と伝説 今瀬 文也
『常陸国風土記』を読む「第一回」
参加感想 鶴尾 能子
笠間藩領中神谷村の旅事情—『佐藤長次兵衛日記』を読む 堀切 武
鹿島神宮雑記 河野 弘
現代に生きる女性たち—再考「付き合いの場」としての農産物直売所 野口 憲一
正体知らぬ「いずな狐」 菊池 敏明
山岳信仰と茨城県 赤城 毅彦
日立地方における延生地蔵和讃口承 大森 政美
茨城町野曾の和讃 今瀬 文隆

◆水戸史学 水戸史学会
〒310-0852茨城県水戸市笠原町979-42
但野正広方 TEL029-243-6910
◇69 2008.11 A5 153p
水戸史学に於ける神武天皇御事績の研究 堀井 純二
前期水戸学に於ける南北朝正閏論—三種神器をめぐる栗山潜鋒と三宅観瀾の論争から 松本 丘

『大日本史』列伝の構成について 梶山 孝夫
「南北朝合体」の記述をめぐって 廣瀬 重見
南溪先生小傳(下) 名越 漠然
義公の足跡を尋ねて(16) 住谷 光一
史料鑑刻 徳川齊昭卿書翰(3) (慶應義塾大学図書館蔵本) 宮田 正彦

◆鹿沼史林 鹿沼史談会
〒322-0031栃木県鹿沼市睦町287-14
鹿沼市立図書館内 TEL0289-64-9523
年3000円 tochigi-vnpo.net
◇48 2008.12 A5 85p
八坊館考 杉浦 昭博
薬王寺の東照宮社・大猷院殿宝塔について 中島 正
「日光領農民と川除御普請」補遺
文化9年瀬尾村の大谷川洪水村請御普請 佐藤 権司
藩校(学)の書籍出版事業
—下野諸藩の状況 岡田 幸夫
第13代輪王寺宮 北白川能久親王 國立 恵俊
南画家・田崎草雲の真名子滞在 菊地 卓
野ざらしの母子像(3) 田村 右品
翻刻「槽尾大明神縁起」とその解説ほか 細矢 藤策
弔辞 柳田芳男名誉会長を悼む

◆那須文化研究 那須文化研究会
〒329-2752栃木県那須塩原市三島5-1
那須野が原博物館 TEL0287-36-0949
◇22 2008.12 B5 131p
那須地域におけるゲンゴロウの分布と生態 堀 彰一郎
名前のない女房
—江戸時代の女性のくらし 樋口 政則
接圏 称名寺式土器の地域相 海老原郁雄
〈西那須野地区プロジェクト調査報告書〉

西那須野地区のカミキリムシ相 渡辺 剛
地形図・空中写真にみる三島ごばんの目地区の変ぼう 植木不二夫
那須開墾社第二農場の社屋について 品川貞之／中村輝久
絵葉書で見る那須地方の昔(3)
—西那須野駅とその周辺 長谷川 操
写真で見る戦後の西那須野駅周辺 久留生利美
大名家文書(大関家文書)は語る
(7)—里村玄伸書状について 新井 敦史
地方文書は語る(7)—宗門送り手形にみる情報について 高根沢広之
新刊紹介
那須地区通信／栃木県文献一覧
(2007追録)(2008)

◆歴文だより 栃木県歴史文化研究会会報
〒320-0865栃木県宇都宮市睦町2-2
栃木県立博物館内 TEL028-634-1313
◇69 2008.11 A4 4p
古文書・古典籍を読む(10) 大井
口用水制水樋門設置に付意見書
拡大する用水組合と取水地域のあつれき 北島 隆行
〈第18回大会研究報告〉
齋藤悦正氏報告「近世中期の村の秩序と由緒」を聞いて 仲沢 隼
龍澤潤氏報告「野澤信元の行動とその背景」を聞いて 黒川 徳男
中谷正克氏報告「近世から近現代における下野国の砥石稼ぎ」を聞いて 鈴木 挙
旧思川沿いの水神 久野 俊彦
◇70 2009.1 A4 4p
《特集 郷土教育》
明治期から昭和前期の郷土教育と現在の地域研究について 竹澤 謙

戦前、橋本与一の郷土教育実践と課題 熊倉 一見
明治末期町村郷土誌における伝説の創出 久野 俊彦
新刊紹介 今平利幸著『日本の遺跡29 飛山城跡 下野の古代烽火家と中世城館』 小竹 弘則



* 明治期を中心とする郷土教育を特集する。竹澤誠氏は、学制公布以来の小学校での郷土教育が、明治末期から大正初期と、昭和前期に特に熱心に取り組まれていたことを、昭和9年に長野県師範学校校長清水暁昇が文部省に提出した、「郷土教育並郷土教育ノ状況照会ノ件」の回答文に基づいて紹介している。明治40年代の郷土教育は、明治政府の地方改良運動の一環である町村是の作成と連動して進められた。この作成には、小学校教員もかわり、これが愛郷心高揚のための郷土教育に繋がっていったという。
さらに、栃木県下野における郷土教育の教材は、明治44年を中心に編纂された郷土誌に補筆・加筆する形で作成され、結果として、後世に郷土史家・郷土研究家と評価される教員が現れたとのことである。こうした経緯を振り返りながら竹澤氏は、これからの郷土教育の在り方について、次のように提起している。「ただ地域を知るだけの郷土教育ではな

く、児童の問題解決能力の向上に資することが要求される現代の郷土教育でなければならぬ。この実現には地域資料を教材化できる、そして児童の学び方を指導し、学びとる力を培うことのできる教師力が必要である。」郷土教育の担い手として、小学校、中学校の教員に期待するものは大きい。

◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会
〒371-0801前橋市文京町3-27-26 群馬県立
文書館内 TEL027-221-2346 年4000円
members.jcom.home.ne.jp/yctanaka/

◇296 2008.10 A5 90p
随 想
大型石材の利用を通して地域を
考える 秋池 武
回想 女堀発掘のころ 能登 健
16世紀における上州六十六部聖の
廻国納経(覚書) 小林 修
上野砦初期請負人市川家の砦山経
営 徳江 康
戦乱の時代と境目の人々—沼田領
内における天正・文禄「下河田
検地帳」に見る農民像 諸田 義行
六合の赤岩から国の赤岩へ—赤岩
重要伝統的建造物群保存地区 山本 伸一
渋川市上白井西伊熊遺跡—瀬戸内
技法による石器製作跡 大西 雅広
博物館・美術館めぐり
群馬県立近代美術館
新刊紹介
関戸明子著『近代ツーリズムと
温泉』 町田 悟
阿左美沼土地改良区50年史編集
委員会編『阿左美沼用水史』
関口 覺
石原征明著『ぐんまの昭和史』
(上・下巻) 手島 仁

◇297 2009.1 A5 73p
随 想
土台は「原体験と邂逅」
—私の地理研究 金吉 正士
時空を超えた連携と協力でのみ
がえる山王廃寺跡 石川 克博
上州三大尽の一人
加部安左衛門(歴代) 丸山不二夫
上毛野氏と古代仏教の関わりにつ
いて—大僧都行賀をめぐる諸問
題 関口 功一
鮎川用水土地改良事業と小坂輝雄
に関する一考察 関口 覺
群馬県立歴史博物館 平成20年度
特別展 戦国武将からの手紙—
博物館にとどいた中世文書 森田 真一
文化財レポート 国府推定域から
出土した八稜鏡—前橋市・天神
Ⅲ遺跡 大嵩崎泰明
博物館・美術館めぐり
安中市学習の森ふるさと学習館
新刊紹介
菊池実著『戦争遺跡の発掘—陸
軍前橋飛行場—』 関口 功一
阪本英一著『養蠶の神々—蚕神
信仰の民俗—』 永島 政彦

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会
〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1
TEL027-223-2785 年4500円
◇207 2009.1 A5 64p
《特集 利根郡みなかみ町(旧利根郡水上町・
月夜野町・新治村)》
みなかみ町ビューマップ
みなかみ町観光商工課
秘境藤原の昔の生活「養蚕が盛ん
だった頃」 林 好一
武尊山麓神秘の大洞窟「大幽」 林 好一

上越線開通 阿部 利夫
清水峠道 渋谷 浩
名胡桃城と北条氏の滅亡 渋谷 浩
三国街道と宿場 新治村を中心に
見城 孝司
高山彦九郎日記による歴史散歩
(15)『乙未の春旅』(4) 正田 喜久
日帰り温泉ぶらり旅(8)
しんとう温泉「ふれあい館」 田口 正美
絵手紙で歩く 上毛かるた(30) 小林 生子
立山に魅せられて 山崎 正

◆郷土はとがや 鳩ヶ谷郷土史会
〒334-0002埼玉県鳩ヶ谷市本町1-15-21
花岡武司方 TEL048-281-3509
◇62 2008.11 A5 118p 1000円
川口市立鳩ヶ谷中学校の創立60周
年
第33回定例総会記念講演
『理趣経』と小谷三志 岡田 博
市文化財だより(13) 発掘でわか
った鳩ヶ谷の歴史(8) 特別展
「古墳時代の鳩ヶ谷を掘る—三
ツ和遺跡とその時代—」開催の
意味 浅野 信英
郷土資料館の資料紹介(16)
昭和6年のバス時刻表 島村 邦男
自分史で語る鳩ヶ谷現代史
鳩ヶ谷在住四十二年八十老史 日吉 一夫
バスレーン・三駅共通定期の実
現 鈴木 務
宮道—回想 嶋田 文子
私の新聞小僧時代 長島 弘司
高野山千蔵院過去帳(8)
武州足立郡赤山領浦寺村 小淵 甚蔵
玉龍山保正寺(法性寺)二世震龍景
春禅師と震龍派 若松 哲夫
鳩ヶ谷の生物(9) 田んぼの忍者

「タシギ」とその仲間 藤波不二雄
「蝶から見た鳩ヶ谷市の温暖化」
その後 藤波不二雄
剣豪松林左馬助と関東群代 乗橋 猛
切腹稲荷 高瀬 博
俳人 上原緑葉先生を偲ぶ 花岡 武司
新刊紹介『鳩ヶ谷市埋蔵文化財
調査報告書 第26集』 加藤 信明
小谷三志をめぐる人々(59)
小谷三志研究史上の人々(2) 岡田 博
歴史資料 1945年8月15日正午ラ
ジオ放送・終戦詔書／戦陣訓
鳩ヶ谷の地の震え・ある量の通過
度 米山 徹

◆日本の石仏
日本石仏協会(発売:青娥書房)
〒357-0067埼玉県飯能市小瀬戸29
TEL042-971-6512 年8000円
www.l.pbc.ne.jp/users/sekibutu/
◇128 2008.12 A5 80p 2100円
巻頭随想
ラオスの涙—「変」をめぐって 坂口 和子
《特集 修験と石造物》
霊域を求めた民間宗教者たち 西海 賢二
修験と石仏 時枝 務
神奈川県県央地区における修験道
の石造物 大野 一郎
山形県の蔵王山信仰 加藤 和徳
里山の蔵王権現と役行者の石仏 田中 英雄
修験道の霊場及び修験関係の石造
品 嘉津山 清
石祠型四十九院塔の源流 中上 敬一
石塔の基礎知識(18) 岡村 庄造
「石」を知る(18) 小松 光衛
石燈籠入門(38) 嘉津山 清
石仏写真と私(18) 杉本 康希
あ・ら・か・る・と—私の石仏案内

岡村庄造／水野英世
会員の広場
西澤寛晃／光野志のぶ／中森勝之
／新井るい子／井戸寛／岡村知彦
石仏交流
一泊石仏見学会報告 茅野の石仏
中森勝之／大木英雄
第78回石仏見学会報告 船橋市東
部成田街道を歩く 森正彦／木村良平

◆ぶい & ぶい 無為無為 日本史史料研究会
〒350-1321埼玉県狭山市上広瀬860 武蔵
野学院大学国際コミュニケーション学部
神野潔研究室 TEL04-2954-6131
www17.plala.or.jp/t-ikoma/
◇3 2008.5 A5 26p
左大臣経宗の母 久保木圭一
弘安7・8年の「相模四郎」につい
て 前田 治幸
コラム 『延慶三年記』のこと 細川 重男
書評 日本史史料研究会研究叢書
2 桃崎有一郎編・著『康富記
人名索引』 久保木圭一
◇4 2008.8 A5 16p
鶴岡八幡宮寺両界壇所供僧職の相
承に関する若干の考察 関口 崇史
コラム
高野山町石にみる石造物の紀年
銘 前田 治幸
Who is 大井入道? 細川 重男
覚海円成の祈り—伊豆の国市本
立寺所蔵元徳4年(1332)銘旧
鎌倉東慶寺梵鐘 鈴木 由美
◇5 2008.12 A5 26p
撰家嫡流の名字について 久保木圭一
日本史史料研究会主催の講座・勉
強会・報告会参加記 長瀬 宏記
コラム 降臨の時 細川 重男

◆富士山遺文拾遺 まるはとだより発行所
〒334-0013埼玉県鳩ヶ谷市南1-5-5
岡田博方 TEL048-281-4118
◇32 2008.11 B5 8p
古今東西宝語(32) 教育の淵源
大島有隣先生御説経開扉(29)
『道話資料』天保五年正月(4) 岡田 博
有縁機縁録 新刊紹介 日中友好
協会八王子支部資料『中国歴史
教科書』、大宮古文書と歴史の
会会誌『ふみあと』第巻号
◇33 2008.12 B5 8p
古今東西宝語(33)
カジノ資本主義
大島有隣先生御説経開扉(30)
『道話資料』天保五年正月(5) 岡田 博
有縁機縁録 新刊紹介 杉戸町教
育委員会 第3回図書館まつり
シンポジウム『江戸に学ぶ、石
門心学に学ぶ』、熊谷康二『圓
治と東洲の石門參禅藏』
◇34 2009.1 B5 8p
古今東西宝語(34)
経済学と経営学
大島有隣先生御説経開扉(31)
『道話資料』天保五年正月(6) 岡田 博
有縁機縁録 新刊紹介 加藤信明
著『郷土はとがやの歴史』、桜
井映子歌集『きのうまで』

◆富士山文化研究会会報
〒369-0306埼玉県児玉郡上里町三町108-1
中嶋信彰方 TEL0495-71-4850 年4000円
◇26 2008.11 B5 8p
富士研総会ならびに講演会／見学
会のお知らせ
群馬県の富士塚見学会報告 小林 秀樹
武蔵野市の富士講先達 秋本安五

郎氏のお墓を訪ねて 榎本幸二郎
富士山関係文献紹介／富士山関係
行事紹介

◆郷土史研通信 八千代市郷土歴史研究会
〒276-0023千葉県八千代市勝田台3-24-10
牧野方 TEL047-484-9728 年3000円
◇64 2008.11 A4 8p
平成20年度八千代市郷土歴史研究
会市民文化祭 展示案内
白井富美子家文書解読研究報告
解読研究グループ
速報レポート 新設された道標と
問題点—島田台と新木戸の事例
報告 村田 一男
おたきさん道標 牧野 光男
間宮士信書簡の謎 畠山 隆

◆史談八千代 八千代市郷土歴史研究会
〒276-0023千葉県八千代市勝田台3-24-10
牧野光男方 TEL047-484-9728 年3000円
◇33 2008.11 B5 123p
〈特集 旧大和田新田の総合研究Ⅲ〉
白井富美子家文書解読研究を終わ
って 菅野 貞男
村入用「飯差籠」と「鷹場支配」 関和 時男
「大教院」についての一考察 平塚 胖
八千代工業団地の変遷 佐藤 二郎
大和田新田の今昔 牧野 光男
〈特集 旧平戸村の総合研究Ⅰ〉
旧平戸村の総合研究序説 村田 一男
地名「平戸」の考察 滝口 昭二
「富澤和子家文書」の解読 佐久間弘文
「平戸村一件訴答写」にみる訴訟
の流れ 酒井 正男
新発見の「筆子石祠」
—富澤和子家氏神 村田 一男
平戸の石造物 小菅俊雄／園田充一

／鈴木登／池田弘之
八千代市平戸の遺跡調査の概要と
平戸台8号墳 巖 由美
八千代市平戸の民俗行事「お釈迦
講」と「大川施餓鬼」 巖 由美
平戸集落の屋敷氏神 小林千代美
平戸小学校教員・小林徳次郎につ
いて 板倉 守
平戸からの献上米 田村 勲
戦争関係遺跡 牧野 光男
寄稿 平戸の俳人 一流舎東川 村上 昭彦
新資料紹介 八千代市島田妙泉寺
の戦時に供出された梵鐘とその
銘文記録 巖 由美

◆千葉史学 千葉歴史学会
〒263-0022千葉県市稲毛区弥生町1-33 千葉
大学文学部内 TEL043-251-1111 年4000円
hist-q.f.chiba-u.ac.jp/users/chibareki/
◇53 2008.12 A5 170p 2000円
巻頭随想
外部的他者と内部的他者 鶴巻 孝雄
歴史随想
西上総高柳いまむかし(続) 三浦 茂一
房総を旅した和算家 米谷 博
境目国衆の居城と大名権力
—相模津久井城掟の分析から 竹井 英文
東総地域における神職の学問受容
—松沢村熊野神社・宇井包教と
平田国学 小田 真裕
戦前・戦時から戦後における地域
社会の「現代化」—千葉県北西
部地域、市川・船橋地域の都市
化・郊外化の検討 小川 信雄
安房妙本寺と中山法華経寺
—戦国末期の一通の文書から 佐藤 博信
講演要旨 鉄道忌避伝説を考える
—流山と船橋の例を中心として

青木 栄一
史料紹介 加波山事件富松正安裁
判関係資料 加藤 時男
新刊紹介
伊藤喜良著『足利義持』 呉座 勇一
千葉県日本韓国・朝鮮関係史研
究会編『近世房総と朝鮮国』 佐藤正三郎
佐倉市史編さん委員会編『佐倉
市史』巻四 高林 直樹
栗田尚弥編著『地域と占領—首
都とその周辺—』 上田 浄
見学記
成田山霊光館を見学して 興石 尚実
日本中東学会第24回大会参加記
押尾 高志
歴史の窓 世界史とヨーロッパ史
—おくれたヨーロッパとすすん
だアジア 南塚 信吾

◆利根川文化研究 利根川文化研究会
〒263-0021千葉県市稲毛区轟町4-3-30 千葉
経済大学 菅根研究室気付 TEL043-253-91
11 www.7a.biglobe.ne.jp/~tonebun/
◇32 2008.12 B5 84p
明治十六年五月、常総汽船同盟成
立す—航運会社に対抗した千
葉・茨城両県の蒸気船舶主及び
汽船取扱人 村越 博茂
佐原の荷宰領
—別の輸送手段として 石川 芳昭
荒川水系の川船と船大工
高本文夫／松井哲洋
上利根川の引船人足をめぐる争論
史料(下)—「引船一件願書并済
口書附写」の紹介 佐藤 孝之
流域に生きる人々 新四国八十八
ヶ所再興発起人・梶原石五郎に
ついて 村上 昭彦

施設紹介 春日部市郷土資料館 実松 幸男
新刊紹介
丹治健蔵著『関東水陸交通史の
研究』 米谷 博
川名登著『河岸—河川水運の
総体的理解と河岸に暮らす人
びとの物語 青木 敏雄
コラム史料探訪
関宿藩家老富田氏の家譜 川名 登

◆房 総 川城文庫・藩政史研究会
〒299-4311千葉県長生郡一宮町白山8-7
TEL0475-42-3034
◇123 2009.1 B5 8p
房総の歴史 江戸の往来物『浜庇
小児教種』(はまべひしょうに
おしえだね)を読んで 関川堂
今川経山の九十九里浜漁村の往
来物 川城 昭一
奇祭 人輪三層「親の日だ」
夷隅郡岬町押日八幡社の祭祀
一宮実業学校の町立移管について

◆房総石造文化財研究会会報
〒270-0221千葉県野田市古布内1682-3
石田年子方 年3000円
◇99 2008.9 B5 4p
下半期の活動開始
石仏紹介 災害碑(1)
天明の浅間山噴火供養塔 石田 年子
富里の石仏(4)
弁財天を追う道祖神 木原 律子
資料紹介
小見川の下総板碑—資料編

◆松戸史談 松戸史談会
〒270-0021千葉県松戸市小金原7-10-20
松田孝史方 TEL047-342-1764 年5000円

◇48 2008.11 B5 88p
東葛地方史探求に励ましを与えた
“北野道彦賞” 終える
松戸街路樹と並木の様相 末満 宗治
路傍の庚申塔について—再調査 松田 孝史
平本姓を追う中で高城姓に出会っ
た 田嶋 昌治
八ヶ崎の今昔・幻の城を追う 沖 福松
小金高城氏と高根城考(1) 平久保久雄
隣は「雷電神社」 新谷 喬史
千葉周作研究文献と松戸宿小森家
の謎 辻 淳
五香六実いまむかし(3) 及川 ふじ
第59回松戸市文化祭参加
文化講演 松戸下谷 その歴史
と風俗 干潟の行方 大井 弘好
伝統芸能 日本の心を奏でる
箏・十七絃・三絃・尺八
野菊の会&澄乃音楽
松戸史談会講演会
歴史を掘る—小金城跡・根本内
城跡の発掘 関山 純也
“松戸駅界隈” 記憶する懐かし
い原風景 池田 眞也
鈴木風南子さんを送る
松戸史談会会員勉強会(記録)／松
戸史談会主催史跡めぐり(記録
と解説) 松戸史談会幹事

◆足立史談
足立区教育委員会足立史談編集局
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393
◇489 2008.11 A4 4p
東高野の歴史について 榎本 栗吉
常設展示リニューアル報告(4)
千住市場の間屋と建物(2)—ヒ
トミ(人見築) 内山 大介

対談 近藤勇の写真について(2)
綾瀬・金子塚に残された写真の
謎 森重和雄／増田光明
都市近郊の農産物を追う(16)
ツマモノ(3) 荻原ちとせ
◇490 2008.12 A4 4p
常設展示リニューアル報告 都営
住宅のくらしと建物 2-8.5型
住宅建設の時代 編集部
お化け煙突・千住火力発電所(3)
—点検・小修理は直営で 姫野 和映
東高野の歴史について(2) 榎本 栗吉
郷土芸能保存会30周年記念大会
魚沼市の郷土芸能も引き聴衆
2000名が伝承の技を楽しむ

◆足立史談会だより
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393
◇248 2008.11 A4 4p
コラム教育史料 終戦直後の日本
の教育(85) 新教育指針 第四
章科学的水準及び哲学的・宗教
的・教養の向上(承前) 堀川 和夫
文化財の保存と保護(12) 石造物
の固定は先人のやり方で／文化
財が泣いている／骨董品と文化
財 矢沢幸一郎
群馬富岡方面バス探訪報告
◇249 2008.12 A4 4p
コラム教育史料 終戦直後の日本
の教育(86) 新教育指針 第四
章科学的水準及び哲学的・宗教
的・教養の向上(承前) 堀川 和夫
江戸史談 青物市場物語 安藤 義雄
11月大宮鉄道博物館探訪報告

◆足立史談

足立区教育委員会足立史談編集局
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393
◇491 2009.1 A4 4p
石出常軒法名日念碑 渡辺 春園
お化け煙突・千住火力発電所(4)
—点検・小修理は直営で 姫野 和映
対談 近藤勇の写真について(3)
綾瀬・金子塚に残された写真の
謎 森重和雄／増田光明
常設展示リニューアル報告 千住
市場の間屋と建物(3)—ヒトミ
のつくりとはたらき 内山 大介

◆足立史談会だより

〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393
◇250 2009.1 A4 4p
謹賀新年
充実感を持つ日常に 安藤 義雄
コラム教育史料 終戦直後の日本
の教育(87) 新教育指針 第四
章科学的水準及び哲学的・宗教
的・教養の向上(承前) 堀川 和夫
史談会会員だより
教養講座 鷗外フォーラム in 千住

◆あるむぜお

府中市文化振興財団府中市郷土の森博物館
〒183-0026東京都府中市南町6-32 TEL042-
368-7921 www.fuchu-cpf.or.jp/museum/
◇86 2008.12 A4 8p
川崎平右衛門の墓めぐり(3)
島根県大田市大森町 龍昌寺跡
展示会案内 特別展「代官 川崎
平右衛門—時代が求めた才覚の
人—」

NOTE 都市化と自然再生 中村 武史
from Tom to Hana 新米学芸員
の交換日記(3) 村の助け合い
のこと Tom
最近の発掘調査 国史跡武蔵府中
熊野神社古墳の最新情報 塚原 二郎
リニューアルトピックス—展示室
再生11) 「体験ステーション」、
「ふるさと体験館」とどう違う？

◆板橋史談 板橋史談会

〒174-0076東京都板橋区上板橋2-30-7-104
TEL03-5398-2682
◇249 2008.11 A5 33p
志村延命寺の創建に関する考察 井上 富夫
史蹟を訪ねて(8) 由利公正 猪瀬 尚志
写真ニュース(9)
「旧橋名を復活させよう」 井上 富夫
写真探訪 板橋の地名(8)
「お伊勢坂」 大澤 鷹邇
いたばしの庚申塔探訪(1)
志村2-3の庚申塔 大澤 鷹邇
ひろば
会員の津山正幹氏著書紹介『民
家と日本人』 泉 貞代
板橋地域の新刊紹介 山浦純之
介著「千の風になって—いた
ばし編」 大澤 鷹邇

◇250 2009.1 A5 45p
《特集 昭和のくらし》
昭和の暮らし—戦争の時代 大井 眸
食卓の私的昭和史 田中 穂積
続 敗戦前後 森田 千春
昭和の三分の一の記憶と思い出 猪瀬 尚志
私の戦後 百瀬 謙三
昭和の暮らし 星野 紀昭
昭和の暮らし—私が幼かった頃 井上 富夫
昭和は遠くなりけり 坂田 宏一

昭和の思い出 和田 潔子
昭和の暮らし—学生時代 吉田 隆光
ひろば 寿徳寺の「谷津大観音」
開眼法要式典に参列して 猪瀬 尚志

◆奥武蔵 奥武蔵研究会

〒188-0011東京都西東京市田無町7-12-21-
302 浦野要方
◇364 2008.11 B5 29p
遍路道 浦野 要
武蔵河越の歴史浪漫(比企禅尼と
河越氏) 市川 光夫
奥武蔵、秩父の獅子舞(26)—皆野
椋神社のジョナメキザサラ 関口 洋介
旧会員都築三郎さんの山と私
—三回忌を前に 藤本 一美
秩父地方の雨乞い習俗(2) 宮下 玲子
見沼通船堀と閘門 岡野 守
奥武蔵・秩父地域の山岳遭難 町田 尚夫
高水三山で小学校のクラス会 本木 和男
山行報告
◇365 2009.1 B5 26p
ことしも元気に歩きましょう 浦野 要
武蔵河越の歴史浪漫(河越夜戦と
大田道灌) 市川 光夫
奥武蔵、秩父の獅子舞(27)
—神領三峯の舞 関口 洋介
秩父地方の雨乞い習俗(3) 宮下 玲子
研究会の星また一つ消える 浦野 要
奥武蔵の近況だより 鈴木はつ乃
「品頼」という名前の三角点 町田 尚夫
正月の思い出 大江山… 本木 和男
08年度 河田賞／08年度 山行賞
／08年度 集会賞
山行報告

◆解放研究／明日を拓く

東日本部落解放研究所

〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5
TEL03-5603-1861
◇21/73 (34-3) 2008.3 A5 222p 1050円
講演 近世の北奥社会と被差別集
団の動向—弘前藩における「革
師」をめぐる 浪川 健治
講演 山上卓樹の足跡—自由民
権・キリスト教・被差別部落 石居 人也
近世関東における被差別部落の人
々の人権と生活を守る闘い 松浦 利貞
近世の時宗鉦打—関東における差
別の様相と研究課題 大熊 哲雄
報告 時宗・鉦打研究会の発足 藤沢 靖介
研究ノート カナダから水平社に
届いた連帯メッセージ—部落民
移民史研究のために 廣畑 研二
資料紹介
水平社対国粋会騒擾事件判決 廣畑 研二

◆季刊 Collegio 之潮

〒185-0021東京都国分寺市南町2-18-3-505
TEL042-328-1503 www.collegio.jp
◇35 2008.12 B6 48p
大陸彷徨(1) ロマノフカ行(1) 島田 英常
地域にある資料をわざわざ「中央」
に移すことについて 田中 ヒロ
150年前の江戸を実測復元する(4)
お上に桶突いた三河の稲荷 中川 恵司
フランス古地図音楽散歩(18)
リュクサンブール 関根 敏子
東京文学地図帖 戦後編(18)
浅草橋・鳥越 槌田 満文
東京電車線路物語(14)
矩区間運転系統 井口 悦男
中西悟堂を歩く(16)
最初の探鳥会 西村 眞一
四ッ谷の麴町 鈴木 理生
切絵図・武鑑・住宅地図 芳賀 啓

17世紀シベリアの地図化過程 佐々木路子
コラム地図のなかの水辺(21) 浦安

◆北区史を考える会会報

〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10
大澤栄美方 TEL03-3907-0040

◇90 2008.11 B5 8p

第310回月例研究会

旧十条村醍醐家文書の概要 榎本 龍治

第311回史跡研究会

荒川・隅田川探訪 大澤 栄美

第309回月例研究会

郷土史雑談会 林 健一

◆郷土目黒 目黒区郷土研究会

〒152-0003東京都目黒区碑文谷4-15-13
長沢英男方 TEL03-3711-3959

◇52 2008.10 A5 155p

江戸の銭と庶民の暮らし 吉原健一郎

放鷹記 橋口 明子

目黒、駒場・別所(地名考) 山内 宣之

林試の森公園にあった林業試験場

の創立と初代場長松野磯 松本 庸夫

碑文谷彫りと岸田利女先生 山本 尚

きざ柿 栗山 佳也

目黒盆栽研究会について 平山 元也

第六天社大祭を終えて

お祀の歩みを顧みる 岩田 トメ

小学校四年生と二・二六事件 川合 正治

烏森小学校の想いで 花井 鐵弥

随想 衾村・碑衾村・碑衾町 新倉 繁夫

思い出をありがとう

目黒区立第六中学校 高林すみ子

赤提灯・四十年の軌跡 仲野 基道

トルコの遺跡と日本の仏像 小池 泰子

随想 続・目黒の麦打唄 田丸 太郎

五本木の現状と変遷 齋藤 誠

文化財に関する教育委員会最近の

動向 目黒区教育委員会地域学習課

郷土資料室平成19年の事業をふり

かえって 目黒区教育委員会地域学習課

歴史資料館開設準備担当係

さかな発見! 目黒川

目黒区都市整備部みどりと公園課

◆史 叢 日本大学史学会

〒156-8550東京都世田谷区桜上水3-25-40

日本大学文理学部史学研究室内

TEL03-3329-1151

◇79 2008.9 A5 90p (抄)

戦前・戦中期および敗戦直後の金

森徳次郎について 霜村 光寿

昭和天皇の戦争責任問題について

古川 隆久

書評 筒井清忠著『昭和十年代の

陸軍と政治—軍部大臣現役割の

虚像と実像—』 安井 淳

◆史 潮 歴史学会

〒157-8511東京都世田谷区成城6-1-20

成城大学文芸学部気付 年4000円

www.soc.nii.ac.jp/rekigaku/

◇64 2008.11 A5 224p 2500円 (抄)

特集 移動の履歴とアイデンティ

ティ

日本占領における米軍の新聞検閲

—『中国新聞』の事後検閲例 大島 香織

昭和初期におけるマルクス主義的

歴史教育論の需要と展開 福田 喜彦

書 評

阿部猛編『中世の支配と民衆』 山本 隆志

大石学著『江戸の教育力 近代

日本の知的基盤』 石山 秀和

◆神道宗教 神道宗教学会

〒150-8440東京都渋谷区東4-10-28

國學院大學内 TEL03-5466-0209

◇212 2008.10 A5 93p

明治神宮造営と明治聖徳論の展開

佐藤 一伯

鎮守の杜の性格—『下総名勝図絵』

を視点として 猿田 正悦

『山王神道秘要集』の成立に関する

一試論—『神道雑々集』研究

のための覚書としての 新井 大祐

若き日の本居豊穎

—村上忠順との交遊から 中澤 伸弘

◆すみだ川 隅田川市民交流実行委員会

〒111-0042東京都台東区寿2-9-9

北村国男方 TEL03-3844-2008

ce.it-chiba.ac.jp/shinoda/

◇44 2008.10 B5 14p

平成20年度総会 望月 崇

総会記念講演「隅田川を愛した海

舟と武揚」(要旨) 講師・鶴澤

義行氏 沼尻 重男

島先生が遺されたもの 石原 成幸

芭蕉と隅田川そして草加 樋口 素秋

隅田川大学講演会監報告 勝関・

永代・清洲橋の重文指定と隅田

川橋梁 講師・伊東孝氏 篠田 裕

隅田川大学第9回フィールドワー

ク 隅田川最新再開発地域—汐

入地区 講師・小木曾淑子氏

隅田川大学第2回ゼミナール 川

の水、沙漠の水—なぜ沙漠なの

か 講師・篠田裕氏

隅田川クリーンアップ大作戦 糸井 守

隅田川クリーンアップ大作戦に参

加して 鈴木 俊一

会員便り

私は、2008年8月24日、隅田川

桜橋上流で泳いだ 佐藤 武

樹木絵のチカラ 私の大病克服

に役買ってくれた樹木スケ

ッチの話 猪狩 達夫

第28回ウォーターフェア

「隅田川レガッタ」開催報告 糸井 守

雨の隅田川おどり 田中 兼勝

四万十町「隅田川おどり」会場に

あゆの店を出店 片田 宏一

◆西郊民俗 西郊民俗談話会

〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1

大島方 年2000円

◇205 2008.12 B5 45p

富山県富山市八尾町谷折における

馬の民俗 森 俊

吉田家と伏見の「稲荷勧請」談義 榎本 直樹

鶴見の子育観音 大島 建彦

旧修験家の年中行事—山梨県山梨

市の光明院の事例 長沢 利明

関東地方の天狗伝承(2)

—その全体像 高橋 成

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061東京都世田谷区北島山2-3-9-101

光田憲雄 TEL03-3307-2146

www.k5.dion.ne.jp/~daidoge/

◇175 2008.11 A4 2+2p 100円

『風俗画報』が載せる雑業

◇176 2008.12 A4 2p 100円

故梅原白髯師追悼公演決定!

日本演歌史—自由民権運動から演

歌へ

◇177 2008.12 A4 2p 100円

『風俗画報』が載せる雑業

江戸市中世渡り種(2)

◇178 2009.1 A4 2+1p 100円

「街角」と「葎簀小屋」の芸能

梅原白髯師記念講演！
日本演歌史(2)(3)
◇179 2009.1 A4 2p 100円
『風俗画報』が載せる雑業
江戸市中世渡り種(3)
◇180 2009.2 A4 2p 100円
「街角」と「葭簀小屋」の芸能
梅原白髯師記念講演！
「街角」や「葭簀小屋」で行われた
芸能を通して梅原白髯師を偲ぶ

◆多摩地域史研究会会報
〒190-0011東京都立川市高松町1-16-2
文化財C O M内 TEL042-521-0186
◇86 2008.11 B5 24p
第62回例会報告 多摩という歴史
地域—地図で考える 馬場 喜信
第63回例会報告
京王資料館を訪ねて 池谷 泰春
立地と景観から考える多摩の中世
(前期)寺院—江戸期の地誌・絵
図と近代地形図を手がかりに
(5) 馬場 喜信
近世(江戸時代)の八王子城跡 安宅 達利
多摩の鉄道の国有化をめぐる 佐藤美知男

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団
〒186-8686東京都国立市中1-9-52
たましん国立支店内 TEL042-574-1360
年1200円 www.tamashin.or.jp
◇132 2008.11 A5 110p
《特集 八王子の地域文化》
鈴木龍二と『多摩文化』の頃 沼 謙吉
青年に期待した「八王子文化」 樋口 豊治
多摩考古学研究会の結成と井上コ
レクション寄贈実現化運動 棚 國男
佐藤孝太郎先生と京王多摩文化会
—史蹟探訪の草分け 清水 正之

八王子の気象観測50年 原嶋 宏昌
さし絵のなかの多摩(44) 秋川谷
の三匹獅子舞—『風俗画報』の
さし絵と『儀三郎日記』など 齋藤 慎一
洋風建築への誘い(21)
山の分校を巡って 伊藤 龍也
建物随想記(16) 木造校舎はなぜ
懐かしく感じるのか？ 酒井 哲
古文書は語る(24) 武州御嶽権現
社の御免勅化—金井家文書「武
相甲三ヶ国御免勅化許可願書」
より 馬場 憲一
本の紹介
府中市女性史編さん実行委員会
編『府中市女性史 この道は
明日につづく』 山崎 祐子
昭島・歴史を読む会編『武州多
摩郡郷地村 道中日記』 岩橋 清美
西東京市・高橋文太郎の軌跡を
学ぶ会編著『高橋文太郎の真
実と民族学博物館—埋もれた
国立民族学博物館前史—』 永井 美穂

◆地方史研究
地方史研究協議会(発売:岩田書院)
〒112-0002東京都文京区小石川3-10-5
名著出版内 TEL03-3816-0739 年6600円
◇336 (58-6) 2008.12 A5 102p 1200円
地租改正における地価決定と収獲
高—広島県恵蘇郡奥門田村を事
例として 中山 富広
武田氏の駿河侵攻と徳川氏 小笠原春香
文明・明応期の但馬の争乱につい
て—山名政豊父子と垣屋氏 片岡 秀樹
展示批評 練馬区郷土資料室特別
展「『講』ってなあに？」によ
せて 西海 賢二
研究例会報告要旨

前田治幸／和氣俊行／飯島章
国文学研究資料館アーカイブズ研
究系の機能維持・向上を求める
緊急声明
8月15日付「公文書管理の在り方
に関する有識者会議」の中間報
告に対するパブリックコメント
「公文書管理の在り方等に関する
有識者会議」への8月30日付第
二次提言
永島福太郎氏の訃 鶴崎 裕雄

◆千代田区立四番町歴史民俗資料館だより
〒102-0081東京都千代田区四番町1 TEL
03-3238-1139 rekimin.city.chiyoda.tokyo.jp
◇29 2008.11 A4 8p
特集 平成20年度特別展「ひとの
一生—千代田の人生儀礼—」開
催中！ 加藤 紫織
収蔵庫から(12)
版下絵を読む 婚礼 滝口 正哉
区内文化財報告(番外編) 遺跡江
戸城外堀跡 再発見ウォーク 水本 和美
神田地域と産婆学校 水本 和美
四番町歴史民俗資料館の体験教室
土器づくり野焼き体験 水本 和美
千代田区ミュージアム連絡会参加
館の紹介 昭和館

◆東京産業考古学会 東京産業考古学会
〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403
多田統一方 FAX03-3964-8548
◇76 2008.12 B5 12p
国登録文化財に新たに登録された
日本福音ルーテル市川教会堂 平井 東幸
ある定点写真 川合 恭平
戦争の間、仕上工見習いで働いて
(4)(金属労働研究 第90号よ

り抜粋)—1945年8月以降の戦場
の状態 岩渕 誠一
重要文化財 旧三河島污水处理場
唧筒場施設
キューボラ工場 見学記 山名 武雄
見学会資料より(補・蛇足) 矢島フジオ
研究所めぐり 多田 統一
赤煉瓦探訪(23) ブリック・マイ
スター鬼頭日出雄(3) 八木 司郎

◆日本史攷究 日本史攷究会
〒169-8050東京都新宿区西早稲田1-6-1
早稲田大学教育学部1010研究室
TEL03-5286-1574 年3000円
◇32 2008.11 A5 179p
奥富敬之先生追悼特集
奥富敬之先生略年譜
奥富敬之先生弔辞 外園 豊基
奥富先生と日本史攷究会 浅沼 正明
常陸国在庁官人による国衙機能の
維持と保証 大澤 泉
奥羽列藩同盟会議における同盟参
加小藩の動向—亀田藩を中心に
青木 俊郎
イエズス会宣教師織田信長朱印状
松本 和也
1970年代における空襲・戦災記録
運動の展開—東京空襲を記録す
る会を中心に 鬼嶋 淳
講演 江戸幕政の展開と紀州閣—
享保改革・田沼政治の再検討 竹内 誠
史料紹介
桜田事件についての一考察 藤原 秀之
新刊紹介
久保貴子著『後水尾天皇—千年
の坂も踏みわけて—』 紙屋 敦之
歴史科学協議会編／木村茂光・
山田朗監修『天皇・天皇制を

よむ』 大橋 幸泰
大橋幸泰著『検証 島原天草一
揆』 谷口 眞子
千代田区教育委員会・同区立四
番町歴史民俗資料館編『原胤
昭旧蔵資料調査報告書(1)』 竹村 到
書評 滝口正哉著『千社札にみる
江戸の社会』 加藤 貴
史跡めぐり

◆日本精神文化 日本精神文化学会
〒189-0001東京都東村山市秋津町1-12-43
TEL042-394-5078
◇18 2008.10 B5 125p
基調講演
古事記草薙剣にみる日本人の心
吉田 金彦
人間における「狂の分析」—ボ
ジティブな面に焦点づけて 村島 義彦
西村伝承歌「熊野の人はかしこ
くて」 西澤 美仁
研究発表
繊維工場における「生活の質」
—寄宿生活を中心に— 岩本真佐子
言葉とコミュニケーション 土井 清孝
『今昔物語』にみる仏教思想 大橋 康宏
木曾御嶽と霊神信仰
—神と人を結ぶもの 小林奈央子
文化圏からみた大陸渡来の文化
新保 哲
岡倉寛三(天心)と文化研究の政
治性 岡本 佳子
『日本霊異記』にみる仏像受容
観の変遷 米田 達也
特別寄稿
日本における漢訳受容について
後藤 康夫
日本的キリスト教徒佐藤平吉の

神道理解 岩瀬 誠
書評 新保哲著『鎌倉期念仏思想
の研究』 浅井 成海
第17回精神文化学会報告

◆練馬郷土史研究会会報
〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31
吉越正博方 TEL03-3996-4454
◇318 2008.11 B5 4p
竹橋事件130周年 今井 忠男
19・1月例会講演 橋戸・備中庄
(庄)氏の足跡を訪ねて(10) 庄 正
昭和史雑感
昭和天皇と将軍達(2) 鎌田 茂男
◇319 2009.1 B5 4p
練馬の「男寺」「女寺」の問題—
「男女別寺(別墓)」をめぐる 木村 博
「服部半蔵幸隆」人物考(1)—高松
庵寺の仁王像銘をめぐるM氏書
簡によせて 日向康三郎
19・1月例会講演 橋戸・備中庄
(庄)氏の足跡を訪ねて(11) 庄 正

◆東日本部落解放研究所ニュース
〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5
TEL03-5603-1863
◇74 2008.11 B5 6p
第22回研究者大会を八王子で開催
全体会報告 友常 勉
「歴史」分科会報告 斎藤 洋一
「教育」分科会報告 松浦 利貞

◆民衆史研究 民衆史研究会
〒162-8644東京都新宿区戸山1-24-1
早稲田大学文学部 大日方研究室内
◇76 2008.12 B5 76p 1500円
《特集 近世港湾都市における文化と社会》

特集にあたって 民衆史研究会委員会
近世日琉関係における上国使者交
易 深瀬公一郎
幕末・維新时期にみる長崎港市社会
の実像 添田 仁
艸の浦における移動・地域・イメ
ージ 玉井 建也
書評
菅原正子著『中世の武家と公家
の「家」』 後藤 麻衣
原淳一郎著『近世寺社参詣の研
究』 高橋 陽一
展示会短評 国立歴史民俗博物館
第三展示室のリニューアルにつ
いて 矢野美沙子

◆MUSEUM EYES 明治大学博物館
〒101-8301東京都千代田区神田駿河台1-1
TEL03-3296-4448
www.meiji.ac.jp/museum/
◇51 2008.10 A4 16p
2008年度明治大学博物館特別展
氷河時代の山をひらき、海をわ
たる—日本列島人類文化のバイ
オニア期 島田 和高
博物館ニュース
展示&リサーチ 研究資料 アー
カイブの試み—萩原龍夫旧蔵資
料の整理について 水谷 類
展示&リサーチ 明治大学国際日
本学部開設記念特別展〈クー
ルジャパン〉を科学する—世界
が目する日本文化 森川嘉一郎
市民レクチャー 刑事部門所蔵の
古文書について—出羽国村山郡
関係文書 日比佳代子
学芸研究室から 埴輪は語る—茨
城県玉里舟塚古墳の埴輪から 忽那 敬三

収蔵室から 赤物玩具—あかのお
まじない 稲葉 久実
明治大学博物館友の会への誘い 長野 陽次

◆昔話伝説研究 昔話伝説研究会
〒150-0011東京都渋谷区東4-10-28
国学院大学文学部 花部英雄研究室
TEL03-5466-0224 mukaden.tiyogami.com
◇28 2008.12 A5 84p
両先師を悼む 花部 英雄
本山桂川と『與那国島図誌』 花部 英雄
梅若伝説の展開—福島県西白河郡
泉崎村の事例より 高塚 明恵
鶴女房にみる女性性への眼差し 山口 拡
寝覚の床と浦島伝説 山田 栄克
取り換える話
—グリムとアンデルセン 久保 華誉
日本語教育と昔話絵本
—台湾の事例から 伊藤 龍平
『公学校用 國民讀本』の昔話資
料—日本統治下台湾の国語教科
書と昔話(3) 伊藤 龍平
新刊紹介・書評
野村純一先生追悼集刊行会『口
承文芸学への夢』野村純一先
生追悼集 和久津安史
野村純一著『昔話の旅 語りの
旅』 高塚さより
小堀光夫著『菅江真澄と西行伝
承』 佐伯和香子

◆明治維新史学会だより
〒195-8550東京都町田市広袴1-1-1 国士館
大学文学部 勝田政治研究室 TEL042-736-
8134 www.soc.nii.ac.jp/ishinshi/
◇10 2008.10 B5 12p
〈2008年度秋期大会報告要旨〉
文久二年長州藩の藩是転換 田口 由香

萩藩毛利家の軍制改革
—海防・軍役・諸隊 上田 純子
海防掛目付方の開国論
—「乙骨耐軒文書」を用いて 後藤 敦史
「土佐派」の「明治維新史観」形
成と『自由党史』（仮題） 中元 崇智
〈2008年度第38回明治維新史学会大会
討論要旨〉
横山百合子氏「近世身分制解体と
土地所有—維新期の武土地に着
目して」 牛米 努
岡部敏和氏「幕末の琉球王府と薩
摩藩—仏国船の琉球来航問題を
中心に」 木村 直也
岩下哲典・田中葉子氏「狂歌『泰
平のねむりをさますじやふきせ
ん』は、ペリー来航当時確かに
存在したか」 嶋村 元宏
岡安儀之氏「福地源一郎における
旧幕論の射程」 桐原 健真
長南伸治氏「『草莽』の顕彰と『地
域』の歴史認識—清河八郎
顕彰の動向を通じて」 吉岡 拓
2008年度第38回明治維新史学会総
会記事

◆目黒区郷土研究 目黒区郷土研究会
〒152-0003東京都目黒区碑文谷4-15-13
長澤英男方 TEL03-3711-3959
◇646 2008.11 B5 8p 150円
城南郷土史研究協議会主催見学会
を終えて 事 業 部
続・目黒の麦打歌(6) 田丸 太郎
会報にみる目黒の昔(12)「目黒
(六)」川口絢二／「昔の憶いで
話」関正二／「狸の話」太田省
三
明治二年・増上寺と民政 橋口 明子

目黒川になかめ公園橋が完成した 平山 元也
講演会「江戸の銭と庶民の暮らし」
会場一杯の聴衆楽しむ／城南郷
土史研 城南4区を結ぶ目黒の
古道100人が歩く
目黒区立二中の思い出 仲野 基道
◇647 2008.12 B5 8p 150円
バス見学会参加記 いわき市と北
茨城市の史跡を訪ねて 花井 鐵弥
目黒区の鎌倉道(1) 田丸 太郎
会報にみる目黒の昔(13)「目黒
落穂集(二)」富岡丘蔵／「目黒
歳時記(一) 正月」「目黒歳時記
(二) 初午」目黒竹山人 編 集 部
明治三年・電信 世界に通ず 橋口 明子
蘭玉、雪玉考 栗山 佳也
東光寺と吉良三代の墓(5) 竹田 務
◇648 2009.1 B5 8p 150円
年頭にあって 青木 英二
新春のごあいさつと歴史資料館の
開館を祝して 長澤 英男
目黒区の鎌倉道(2) 田丸 太郎
会報にみる目黒の昔(14)「目黒
歳時記二 初午(続き)」目黒
歳時記三 ひな」「目黒歳時記
四 桜」目黒竹山人
明治四年・久米さん 橋口 明子
随想 東光寺とお茶 新倉 繁夫
東光寺と吉良三代の墓(終) 竹田 務

◆郵便史研究 郵便史研究会
〒112-0011東京都文京区千石2-42-7
田中寛方 TEL03-3945-2497 年3500円
www.yuubinshi.sakura.jp
◇26 2008.10 B5 54p 2000円
「デグロン君カバー」研究の現状
水準の評価(アセスメント)—い

ま、「デグロン君カバー」の研
究はここまで来た 松本 純一
明治20年前後における郵便一日送
達圏の拡大—鉄道網を活用した
「レールウェイエクスプレス」
の出現 丹下 甲一
中央線の鉄道郵便線路 児玉 敏夫
飛脚略史(1) 星名 定雄
ていぱーく(通信総合博物館)資料
紹介(10) 井上 卓朗

◆歴史民俗
早稲田大学第二文学部歴史・民俗系専修
〒162-8644東京都新宿区戸山1-24-1 早稲
田大学文学部内 歴史・民俗系専修室
TEL03-5286-3765
◇6 2008.12 A5 80p (抄)
中世の荘園と惣
—紀伊国鞆瀬荘の変遷 似鳥 雄一
日本における観光実践としての歎
待に関する考察 工藤 久貢

◆神奈川地域史研究 神奈川地域史研究会
〒236-8501横浜市金沢区六浦東1-50-1
関東学院大学経済学部 田中史生研究室
TEL045-786-7833 年4000円
◇26 2008.12 B5 110p 2500円
〈シンポジウム「再考：上行寺東遺跡と中世
の六浦」〉
シンポジウム趣旨
上行寺東遺跡の再検討・序説—上
段平塚検出遺構の見直しから 橋口 定志
上行寺東遺跡やぐら群の成立と展
開 馬淵 和雄
中世の六浦と上行寺東遺跡 西岡 芳文
上行寺東やぐら群遺跡の発掘調査
(レジュメ) 小林 義典
討論要旨

シンポジウム参加記 藤原 良章
シンポジウム関連・史窓
赤星直忠先生からのお手紙 宮瀧 交二
〈2007年度総会研究報告〉
中世相模における水系と開発 中元 幸二
中元総会研究報告に対するコメン
ト 原田 信男
総会研究報告討論要旨
遺跡紹介 鎌倉幕府政所小考 服部 実喜
例会参加記・例会記録

◆鎌倉 鎌倉文化研究会
〒248-0016神奈川県鎌倉市長谷3-11-2
長谷寺宝物館内 TEL0467-22-6300
◇106 2008.12 A5 104p 1500円
近世後期撰家の鎌倉参詣
—将軍宣下参列に際して 原 淳一郎
日蓮の星下り伝説と虚空蔵寺院—
愛甲郡依知郷、そして荻野郷 篠原 幸久
特集 鎌倉学 鶴岡八幡宮の椰と
大燈籠—由比ヶ浜海難と住吉信
仰 三浦 勝男
余禄 鎌倉乃記(1)
—鎌倉冬柏山房消息 坂本 俊雄
旧建長寺末寺考(5)
—兵庫県神戸市編 鈴木 佐
訓註『古月禅師四會録』(14) 鈴木 省訓
『鹿山公私諸般留帳』(38) 三淵美恵子
神奈川の窓(23)
—「地方史研究」から 井上 隆男

◆コロス 常民文化研究会
〒254-0016神奈川県平塚市東八幡2-8-20
西海賢二方 年1000円
◇115 2008.11 B5 6p
城下町の民俗的世界
—小田原の年中行事(4) 西海 賢二

◆湘南考古学同好会々報

〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-19-104 寺田兼方方

◇113 2008.12 B5 28p

記録に留める事の大切さ 染谷 七恵
弥生土器に刻まれた記号文につい

て—三浦市赤坂遺跡出土土器を
中心に考える 諸橋千鶴子
酔龍愚見録(12) 澤田大多郎
資料紹介 藤沢市今田採集の遺物

石川寛美／寺田兼方
「第2回旧石器時代遺跡探訪」に参
加する 米 諄
さば神社を考える(7) 西村堅一郎
8月定例会に参加して
—初めての勾玉作り 鈴木 祝子
鎌倉女子大学大船キャンパス採集
の有舌尖頭器 桜井準也／牧野久実
横穴墓往還(3)—高井田横穴墓群

上田 薫

◆扣之帳 扣之帳刊行会

〒250-0021神奈川県小田原市早川60
青木良一方 TEL0465-22-8852 年2500円

◇22 2008.12 A5 92p 500円

ボクの映画館(2) 内田吐夢の
『宮本武蔵』—総天然色の白黒シ
— 平倉 正
箱根の露伴 岸 達志
酒匂だより 町田紀美子
「風祭」という地名—風まつり習

俗探訪ノートから 田代 道彌
強羅を通った大名行列 佐宗 欣二
足柄口談(2) 小田原にあったパ
イロット農場—益田農場のこと

市川 正夫
葛山城と小田原北条氏 今川 徳子
『小田原大秘録』への疑問 鳥居泰一郎

足利周辺の碑文を探る(6) 浅間
信仰の語り部—富士講碑考 平賀 康雄
尊徳とライフアイゼン—日本とド
イツの信用組合の起源にて 尾上 武
悲琴抄 茂木 光春

◆民具マンスリー

神奈川県日本常民文化研究所
〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1
TEL045-481-5661 年3500円
◇488 (41-8) 2008.11 A5 24p 350円
兵庫県たつの市二塚地区で生産さ
れた唐箕—いわゆる「二塚系」
唐箕の実態把握に向けて 岩井 顕彦
高校教科書にみる江戸時代の農具

河野 通明
書籍紹介『鉄の時代』 佐々木 稔
◇489 (41-9) 2008.12 A5 24p 350円
奥三河における花祭りの祭具—山
内・花祭りの湯蓋と衣笠をめぐ
って 山崎 一司

関谷和さんと入間市博物館の取り
組み 三浦久美子
思い出を絵で残す—元狹山村(埼
玉県入間市・東京都瑞穂町)の
生活 関谷 和
四月号から本文は二段組みに

◇490 (41-10) 2009.1 A5 24p 350円
喜多方の農耕絵馬 佐々木長生
大坂城址出土の木製品 福佐美智子
アチック・ミュージアムの民具コ
レクション(23) ちろり 近藤 雅樹

◆悠 久

鶴岡八幡宮悠久事務局(発売:おうふう)
〒248-0005神奈川県鎌倉市雪の下2-1-31
TEL0467-22-0315

◇113 2008.11 A5 102p 680円

《特集 雅楽と舞楽Ⅱ》

口絵 鶴岡放生會職人歌合(雅人
・舞人)
エッセイ 音の楽しみ 久邇 邦昭
雅楽の源流について 遠藤 徹
王朝文化のなかの雅楽 蒲生美津子
廃絶楽所について 萩 美津夫
雅楽の史料をめぐって 福島 和夫
雅楽と神楽 東儀 兼彦
明治撰定譜とその周辺 東儀 兼彦
伝説の名手たち 嶋津 宣史
八幡宮紹介 西嶋 若宮八幡神社
(山梨県南巨摩郡身延町)

◆歴研よこはま 横浜歴史研究会

〒223-0056横浜市港北区新吉田町3255
八城東郷方
◇61 2008.11 B5 51p
平成20年度上半期を終えて 大町 頼勝
徳川三つ葵とみあれ 堀江 洋之
江戸時代鎖国における対外関係の
諸相について(1) 萩島 和男
池田武蔵守利隆の波瀾の生涯 竹村 紘一
小田原合戦残照—武将たちの顛末

加藤 導男
北条時宗出現の背景と元寇勝利の
真因 横山 忠弘
「倭人伝」雑考(2)
「倭」と「ヤマト」 間淵二三夫
エッセイ 大友皇子の伝説 八城 東郷
歴史一口メモ(21) 前部 謙蔵
狛犬の散歩(2) 田邊 英治

平成20年度第1回歴史散歩(宿場
シリーズ・第6回) 桜を愛でな
がら平塚宿を巡る
説話縁起に見る水利権の確保 式
内社・有鹿神社と郷社・鈴鹿明
神 田邊 英治

善光寺秘仏を拝見した人(上)

—定尊と源延 石川 勝義
戦国末期の武将 中田加賀守(3) 八城 東郷
侠客・国定忠治の虚像と実像 石関 貞治
東海道本線の歩み—鉄道と文学 鈴木 英男
鵜外と漱石

中 部

◆頸城文化 上越郷土研究会

〒943-0835新潟県上越市本城町8-30
上越市立高田図書館内 TEL025-523-2603

◇56 2008.10 A5 187p

頸城農村社会の史的展開を分析す
る—『頸城文化』を創刊号から
読む(3) 石塚 正英
青木重孝先生と佐渡産黒曜石の本
土流入問題 関 雅之
恵信尼の出自・終焉の地を考える

寺島 恒一
謙信の武威と威令—威勢が生んだ
京都政変と塩の道 土井 重男
上杉謙信後期政權と上杉景勝の地
位 諸井 幸枝
上杉謙信と栃尾・瑞麟寺の歴史検

証 石田 哲彌
(時宗)称念寺文書の紹介 堀川喜久司
直江兼統 花ヶ前盛明
福島城(4) 渡邊 昭二
長岡藩の幻の国替えと北国街道 青山 始義
高田藩定府 直心影流剣術師範役
酒井良佑成大について 酒井 一也
善光寺地震の記録 渡辺 孝行
旧新井市(妙高市)東関のからこ祭
について 土田 孝雄
小栗栖香頂と真宗大谷派高田教区

太田 空賢
地租改正について(西ヶ窪浜村の
状況) 渡邊 戈樹

我が郷里の歴史・文化的遺産考—
身近に存在する遺産を発見する
目 丸山 正男

◆長岡あーかいぶす

長岡市立中央図書館文書資料室
〒940-0065新潟県長岡市坂之上町3-1-20
長岡市立互尊文庫2階 TEL0258-36-7832
www.lib.city.nagaoka.niigata.jp/monjo/

◇7 2008.12 A4 8p
戊辰戦争から140年—刈羽郡中里
村桐沢青柳家文書「戊辰戦争官
軍長岡戦へ」 桜井奈穂子
寺泊地区での歴史資料所在調査を
終えて 田辺 芳幸
歴史的公文書は語る(2)

寺泊と赤泊の青年団の交流 稲垣美知子
文書の虫—テーマ 直江兼次とそ
の時代 田中 洋史
災害の記録と記憶(1)
復興応援セールのチラシ 韭澤 梓
編集中です『郷土長岡を創った
人々』、長岡市史双書 48『新潟
県中越地震と史料保存を考
える』 古川 絵理
長岡の碩学(2)
高野余慶(1729-1815) 金垣 孝二

◆新潟県文人研究 越佐文人研究会

〒959-0438新潟市西蒲区下山340-2
TEL0256-88-5335

◇11 2008.12 B5 143p
既刊号総目録
グラビア特集
越僧・素庵道淳(少林・黄峰・如
雲)の作画と生涯 杉本 欣久
行田魁庵の外城堤之図・考 鈴木 仁
兵法二天一流七代丹羽五兵衛信英

について—筑前から越後に兵法
を伝えた人物とは 飯田 素州
相馬御風の木村寛蔵氏あて書簡の
周辺 旗野 博
相馬御風宛書簡について(3)
—安田鞞彦 金子善八郎
會津八一関係の最近情報 池内 力
新潟島文人 山田 十一
八木柳雪と白倉二峰の紹介に代え
て 岡村 鉄琴
會津八一と安宅安五郎
—二人の交流を資料から探る 山浦 健夫
有願和尚・十六羅漢の屏風につい
て 山森 勲
平成20年の活動より

◆新潟史学 新潟史学会

〒950-2102新潟市西区五十嵐二の町8050
新潟大学人文学部史学研究室内
TEL025-262-6830

◇60 2008.11 A5 78p(抄)
直江酒椿・実綱と長尾景虎政権—
『越後過去名簿』の検討を中心
に 前嶋 敏
村芝居の展開と組織構造(上)—越
後魚沼郡塩沢地域を中心に 滝沢 繁
山古志での史料所在確認調査を終
えて 田辺 芳春
書評
芳井研一著『近代日本の地域と
自治—新潟県下の動向を中心
に—』 麓 慎一
第57回新潟史学会研究大会・総会
記事

◆日本学研究 金沢工業大学日本学研究所

〒921-8501石川県石川郡野々市町扇が丘7-
1 TEL076-248-1100

◇11 2008.12 A5 202p
中世前期における白山信仰全国伝
播の一考察 平泉 隆房
落合直文の楠公唱歌について 中山エイ子
占領期「宗教法人令」の改正問題
—「宗教法人法」制定前史 清水 節
日本における非営利組織の展開
—NPOの変革行動を中心に 東 俊之
『中朝事実』の欠学と神名に関す
る用語について 秋山 一実
熱田神宮編年史料(稿本) 中世三
藤本 元啓

◆日本佐渡学 日本佐渡学会

〒189-0001東京都東村山市秋津町1-12-43
TEL042-394-5078

◇10 2008.10 B5 46p
学術講演 佐渡と北陸の霊場 田上 善夫
研究発表
佐渡の塩作り 佐々木英之
佐渡の修験者 新保 哲
特別寄稿 着床前診断に潜む漠然
とした不安—「ヒトの始まりの
時期」を中心に 松原 新
平成20年度大会の概要

◆まきの木 巻郷土資料館友の会

〒953-0041新潟市西蒲区巻甲3069-1
TEL0256-72-6757 年1000円

◇89 2008.10 B5 26p
友の会総会講演 新潟御蔵所にお
ける刈米(はねまい)について—
考察—蒲原郡における巨大地主
成立の一端緒として 亀井 功

◆良寛だより 全国良寛会会報

〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文
化博物館新潟分館内 TEL025-222-2262

◇123 2009.1 B5 24p
良寛遺墨解説(81) 加藤 惇一
良寛尊像つれづれ(85)
「良寛佳日」親松英治氏作 涌井 茂
折々の良寛(12) 善光寺の良寛 長谷川義明
春の役員会開催される 加藤 惇一
平成21年度全国良寛会南魚沼大会
(予定)
良寛生誕250年記念遺墨展 盛況!!
良寛から子規へ 富澤 信明
良寛鉢叩き説(最終章) 長嘯子か
ら芭蕉、良寛そして露風へ 平松 真一
良寛詩「維摩讃」の考察 本間 勲
石川嘉一著『覚書 良寛—心とこ
とば』出版によせて 齋藤 信夫
良寛検定を通して良寛さまを学ぶ
高橋 郁丸

各地良寛会紹介
「良寛愛語会」の紹介
トビックス／新刊紹介／会報・会
誌紹介

◆峽南の郷土 峽南郷土研究会

〒409-3600山梨県西八代郡市川三郷町市川
大門1785 市川三郷町立図書館内
TEL055-272-8888

◇48 2008.3 A5 28p
巻頭言 歴史的探訪雑感 塩島 博光
狐塚と神獣鏡 塩島 博光
砂金採集には権利権が必要 二宮 明雄
心経寺の安国寺九一色について 中倉 茂
秋山信友と徳川家康の側室下山殿 依田 達
中世期身延山久遠寺伽藍考 沼田 晃佑
総会と臨地研修

◆MARUBI

富士吉田市歴史民俗博物館だより

〒403-0005山梨県富士吉田市上吉田2288-1
TEL0555-24-2411 www.fy-museum.jp

◇31 2008.11 A4 8p
富士吉田あれこれ 願いのカタチ

布施 光敏

博物館Report

富士に祀られた神仏 企画展
「富士の神仏」補足資料の紹
介 高橋 晶子
上暮地新屋敷遺跡発掘調査概報
(前) 篠原 武

◆飯田市歴史ニュース 飯田市歴史研究所
〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145 TEL
0265-53-4670 www.city.iida.nagano.jp/iuhr/

◇37 2008.12 A4 4p
新史料 上飯田村の古絵図を発見！
飯田アカデミア／地域史講座／歴
研ゼミ

リレーエッセイ
写真の力と語りの力 本島 和人
市民の声 飯田歴研賞を受賞して
橋部進さん 橋部 進
活動報告 職場体験学習

◆伊那 伊那史学会
〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048
TEL0265-22-6017 年5500円

◇966 (56-11) 2008.11 A5 50p 500円
口絵 松源寺蔵 信玄の守護本尊

原 董

伊那自由大学と『南信新聞』 清水 迪夫
近世飯田町の人々の移動(2)

—野原文書「縁談願書」から 伊坪 達郎
中世・橋北城の幻影を追う(3) 稲井 揺
弘法山古墳への道—古東山道紀行

荒木 謙次

下伊那日録(2006 5月～7月) 寺田 一雄

◇967 (56-12) 2008.12 A5 50p 500円

口絵 遠山霜月祭 上村中郷の
「神の子上げ」と水牛 桜井 弘人

「聖徳太子絵伝」との出会い—宮
ノ下太子堂旧蔵・聖徳太子絵伝

の現在 織田 顕行
あきはみちに寄せる人々の心(22)

—鈴木屋の宿帳から(6) 大原千和喜
中世・橋北城の幻影を追う(4) 稲井 揺

大島蓼太が白隠禅師より授かった
印可の証 桃沢 匡行

下伊那日録(2006 8月) 寺田 一雄

2008年「伊那」総目録
◇968 (57-1) 2009.1 A5 50p 500円

《民俗特集》
口絵 丸山三吉が残した早生赤梨

の古木 橋都 正
小笠原氏の家紋 久保田安正

江戸時代における部奈疎水工事の
入札と落札 林 登美人

江戸時代の婚礼記録の一例 今村 善興
折口信夫の三信遠国境の旅を辿る

(3) 塩澤 一郎
写真で見る明治末期の女性 依田 時子

車 屋 田中 幸美
坂ノ神「オノ神」 大原千和喜

村祭り 加藤真那生
私の見たワラ人形、聞いたワラ人

形 桃沢 匡行
向方旧起(9) 日記抄 赤羽 篤

下伊那日録(2006 9月) 寺田 一雄

◆伊那路 上伊那郷土研究会
〒396-0021長野県伊那市伊那7799-2
TEL0265-78-6719 年5000円

◇622 (52-11) 2008.11 A5 40p 500円
伊那市西春近西方域の山や川を探

る—今、奥山は 酒井 卓実

古代の諏訪と基層諏訪信仰の謎

(4)—ミシャグジ神と柴宮銅鐸
の一視点 田中 清文

丸丁池上家文書にみる『御公儀
様・御領主様御触留』について

(18) 長谷川正次
ウェストンと一番風呂 田畑 真一

三内丸山遺跡の見学 山本 勝
文化短信 地籍調査 下平 道子

古文書の窓(86) 大事業の一環、
伊能忠敬「測量方先触」 竹入 弘元

師匠の背中(2)より(2) 若林 徹男

ねこを織る 若林 徹男
◇623 (52-12) 2008.12 A5 48p 500円

《広域特集》
信州・伊那の「農」からはじまる

新しい途上国支援—その一、
JICAグアテマラ人研修生の受

け入れ 根本 和洋
〈第33回上伊那歴史研究会県外実地踏査報告〉

秋葉街道に信仰の道と塩の道を訪
ね、遠江と上伊那との関連を現

地に探る
実地踏査の概要 北原 利雄

秋葉街道を訪ねて 芦部 公一
秋葉信仰の中心 秋葉神社を訪ね

て 内城 正登
秋葉山～加睡齋 福興 雅寿

塩の道の起点 相良 内藤りつ子
金原明善とその業績、浜松城につ

いて 矢田 直也

宗良親王ゆかりの地「井伊谷」を
訪ねて 宮脇 正実

県外実地踏査に参加して 氣賀澤厚典
シンガポールでの生活 北原 安門

上伊那遺跡めぐり(65) 辰野の近
代遺跡—肖像彫刻の表象 赤羽 義洋

師匠の背中(2)より(3) 縄を扱う

若林 徹男

『伊那路』第52巻総目次 上伊那郷土研究会
◇624 (53-1) 2009.1 A5 40p 500円

明けましておめでとうございます
県内初の「景観育成特定地区」指

定の歩み—伊那市西箕輪地区 山口 通之
新発見の阪本天王山肖像画 林 洋一

幕府から火鉢を拝領した眼医樋口
三生について 矢澤 喬治

天竜川柵立柵立替目論見—上伊那
郡伊奈部村上牧・野底 竹入 弘元

信州・伊那の「農」からはじまる

新しい途上国支援—その二、フ
ォローアップ事業でグアテマラ

へ 根本 和洋
文化短信

長野市での井月展を終えて 矢島 信之
古文書の窓(87) 中山道への初め

での加助郷の記録 下平すみ子
師匠の背中(2)より(4) 藁草履 若林 徹男

◆伊那民俗 柳田国男記念伊那民俗学研究所
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655
飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118
3000円

◇75 2008.12 B5 8p
和田のマチ 遠山谷南部の民俗調

査から学ぶ—過去から未来へ 和田 憲
遠山谷南部の民俗調査報告会 民

俗調査の成果を現代に生かす—
野本所長の講演から 寺田 一雄

柳田国男の『信州随筆』研究(15)
矢立の木(伝説と習俗) 湯沢 孝一

伊那近代思想史研究会(24)
森本州平家の養蚕 寺田 一雄

◆史学 義仲 木曾義仲史学会
〒390-1401長野県東筑摩郡波田町5904-5

千村清文方 TEL0263-92-6815 年3500円
shigakukai.hyu.jp
◇10 2008.11 A5 107p
特別寄稿 日本中世史における真
実 木曾義仲の時代を中心に 五味 文彦
宮菊と法明寺 田中 博
木曾義仲史学会のホームページが
できました
長野県木曾大蔵村須原定勝寺の木
曾義仲及び、木曾義昌の古位牌
楯 英雄
現代に生きる義仲公と巴御前 群
馬県「草津温泉湯畑」に刻名を
遺す 角田正敏／角田誠二
藤原貴族と木曾義仲 義仲は何故
北陸の宮の擁立にこだわったの
か 西川 弘幸
雑 感 今井 弘幸
義仲マメ知識
法住寺合戦の真相 高坪 守男
下総葛西城主大石氏について 國定美津子

◆信 濃 信濃史学会
〒390-0805長野県松本市清水1-9-607
TEL0263-36-1785 年8400円
www.shinano-shigakukai.com
◇706 (60-11) 2008.11 A5 80p 900円
古代における「横死者」の墓—長
野市松原遺跡の土坑墓 S K1226
の被葬者をめぐって 桜井 秀雄
終焉期の和算家 野池嘉助 小林 博隆
長野県の地方区域分類の現状と課
題—道州制施行問題と関連して
山中 鹿次
丸山久成の「日記」の考察(2)—
『赤報記』との関係について 児玉 卓文
物 くさ太郎のモデル像について
(下)—帰ってきた小笠原氏 浜野 安則

東山道長倉駅家址の推論 土屋 長久
◇707 (60-12) 2008.12 A5 82p 900円
上田築城の開始をめぐる真田・徳
川・上杉の動静—上杉・小笠原
の麻績合戦の再考もあわせて 寺島 隆史
家相見・測量家としての小林凌雲
—「観相宝来記」を中心として 大谷 典久
柳沢銅戈のうち樋結合式綾杉文型
一本の推理—柳沢式銅戈仮分類
との関連性 松澤 芳宏
伊勢の『古事記』・出雲の『日本
書紀』—無文字時代に従った編
纂について 柳沢 賢次
新刊紹介
奥中康人著『国家と音楽』 伊藤 一夫
『信濃』第60巻総目次
◇708 (61-1) 2009.1 A5 82p 900円
《民俗学特集号》
昔話と家族—何が「めでたい」か 倉石 忠彦
長野県松本市城山丘陵の磐伝説に
ついて 小原 稔
現代の劇場における信仰実態 吉田 洋子
地図からみる東京都の祭囃子 高久 舞
信濃史学会2008年度秋季例会 山浦 寿

◆通信上田盆地 上田民俗研究会
〒386-0014長野県上田市材木町1-2-47
上田市立図書館内 TEL0268-22-5999
◇35 2008.12 B5 4p
塩田平中野民俗探訪から 田口 光一
中野住民の一人として 小出 広男
能「蟬丸」と信濃巫女 益子 輝之

◆長 野 長野郷土史研究会
〒380-0905長野市七瀬南部14-7
TEL026-224-2673 年3000円
www.janis.or.jp/users/kyodoshi/
◇262 2008.12 A5 64p 500円

《特集 街の書店》
未来への伝言
長野市街地の書店のいま
街の書店 小林竜太郎
昭和30年現在 長野県書店名簿
善光寺の御三卿像 高橋 宏
信州最古の芭蕉句碑考 中田 敬三
歴史研究会第24回出雲大会に参加
して 八木 輝夫
善光寺地震などを伝える『見集録
坤』の紹介(1) 鬼頭 康之
岩井備中守信能の生年について 志村 平治
講談「真田三代記」(17) 小林 一郎

◆長野県民俗の会通信
〒390-0222松本市入山辺1403 木下守方
TEL0263-50-9911 年5000円
www.k2.dion.ne.jp/~folklore/
◇208 2008.11 B5 8p
『幽谷余韻』に記された狸の和尚
の話 細井雄次郎
臨津江の向こうに 倉石あつ子
◇209 2009.1 B5 8p
民俗慣行の変容 巻山 圭一
岡谷市湊小田井の御嶽さま 中崎 隆生
平成20年度総会の報告 細井雄次郎

◆郷土研究岐阜 岐阜県郷土資料研究協議会
〒500-8368岐阜市宇佐4-2-1 岐阜県図書館
内 TEL058-275-5111 年2800円
www.library.pref.gifu.jp/dantai/kyosilen/k_index.htm
◇110 2008.10 B5 28p
小島信夫先生の想い出 山田 賢二
高山本線の成立と変遷をめぐって
草 卓人
大白川ダム地点出土の和鏡三枚に
ついて 佐伯 哲也
東山道の「大野駅家」を探る 石田 明乗

下呂市上呂のマリア観音像につい
て 横山 住雄
書窓の風
西濃 近代期の大垣の発展を伝
える『大垣商工時報』 平塚 正因
美濃 白鳥拝殿踊 馬淵 旻修
郷土関係新刊書目録(96)
郷土関係逐次刊行物文献目録(95)

◆岐阜市歴史博物館だより
〒500-8003岐阜市大宮町2-18-1
岐阜公園内 TEL058-265-0010
◇70 2008.12 A4 8p
企画展「ちょっと昔の道具たち」
歴博セクション「斎藤徳元から
広がる世界—陶玄亭コレクショ
ンの名品」
加藤栄三・東一記念美術館「こう
して名画は描かれた 加藤栄三
・東一 素描・下絵・本画展」
博物館ニュース
博物館で職場体験
研究ノート
「佐保」と「佐保姫」 大橋 路子
館蔵資料紹介 寄袈掛布団

◆美濃民俗 美濃民俗文化の会
〒503-2227岐阜県大垣市青野町1180-1
大垣歴史民俗資料館内 TEL0584-91-5447
年1000円
◇498 2008.11 B5 6p 250円
随想 青墓「粉糠山古墳」
—名付けの由来を辿る 堤 正樹
殿様のくらし(67) 十万石大垣藩
主 戸田氏彬と天誅組 清水 進
「車山」の文字考(2) 藤田 黎三
随想 火鉢の藁灰 清水たず子
◇499 2008.12 B5 6p 250円

晦日神楽 堤 正樹
肉食禁止令 林 佐多哲
コトバの民俗
殿様のくらし(68) 十万石大垣藩
主 若殿氏正の江戸屋敷移動 清水 進
西美濃地名考(3) 村上 圭二
蘇る朝鮮通信使「大将官」 北山 佛索
子供達の友達の輪 秋上げのぼた餅 長谷川恵三
◇500 2009.1 B5 6p 250円
ウィーンに六段の調べ 山本 次能
新春 干支・丑歳雑草記(上) 高橋 智静
殿様のくらし(69) 十万石大垣藩
主 戸田氏正の江戸暮らし(1) 清水 進
西美濃地名考(4) 村上 圭二
後日譚 スカタ(額田)ノクニは
「美濃・池田」六郷のうち 堤 正樹
子供達の友達の輪
秋上げのぼた餅(2) 長谷川恵三
戊辰戦争に付いて考えさせること 大内 勲

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会

民俗文化研究所
〒438-0086静岡県磐田市見付3532
TEL0538-32-3546
www4.tokai.or.jp/child-c-j/
◇18 2008.11 A4 6p
岩手県虎舞 吉川 祐子
釜石虎舞見聞録 大石 泰夫
大船渡市泊里浜の五年祭 吉川 祐子
◇19 2008.12 A4 4p
ヒヨンドリのムラ・寺野 結束力
を誇るムラ運営 吉川 祐子
◇20 2009.1 A4 6p
浜松市北区滝沢町の正月行事 吉川 祐子

◆静岡県近代史研究会会報

〒432-8011浜松市中区城北3-5-1 静岡大学
情報学部 荒川章二研究室内 年4000円
◇362 2008.11 B5 6p 200円
第31回総会開かる
11月例会レジュメ
静岡県における教職追放(教職
適格審査・教員レッドバージ)
栗田 大介
戦時体制下の小林橘川 成瀬 公策
紹介 原口清著作集 全5巻
◇363 2008.12 B5 4p 200円
明治初年の「司法試験」—静岡県
最初の免許代言人前島豊太郎 橋本 誠一
コスタリカの熱帯雲霧林にて 竹内 康人
教えてください 村瀬 隆彦
◇364 2009.1 B5 4p 200円
1月例会レジュメ 中学校におけ
るメディア・リテラシーの授業
実践 笠井 英彦
免許代言人の法学教育歴
—静岡県の場合(承前) 橋本 誠一
新刊紹介 写真 増田彰久・文 田
辺千代『日本のステンドグラス
小川三知の世界』 市原 正恵

◆静岡県民俗学会会報

〒420-0866静岡市葵区西草深町21-7-302
www4.tokai.or.jp/s-folklore/
◇129 2008.11 A4 6p
大内調査報告
大内周辺の石造物について 佐藤 吉男
シリーズ食(7)
うどん 富士山麓の粉食(1) 松田香代子
食の民俗—静岡県
「オハタキ」考(3) 富山 昭
静岡の民俗語彙・方言短信／祭り
・イベント情報／博物館情報
◇130 2009.1 A4 6p

平成21年 年頭のご挨拶 松田香代子
第2回ジュニアのための民俗学講
座 松田香代子
大内調査報告 天白神社の祭礼 多々良典秀
食の民俗—静岡県
「オハタキ」考(4) 富山 昭
シリーズ食(8)
小麦まんじゅう 夏のハレ食 外立まゆみ
静岡の民俗語彙・方言短信／博物
館情報／まつり・イベント情報

◆豆州歴史通信 豆州研究社歴史通信部

〒414-0001静岡県伊東市宇佐見1976-10
◇426 2008.12 B5 4p
「大日本帝国の村」の試練(1)—役
場文書から読み解く日露戦争期
の小室村 加藤 好一
大東亜戦争の名は昭和16年12月10
日
◇427 2008.12 B5 4p
丹那トンネル開通(東海道本線)
熱海・三島間の丹那盆地下 19
34(昭和9)年12月1日 工事期間
7年の予定が16年という難工事
昭和16年12月8日以降は「八」の
日は毎月、大詔奉戴日 以前は
「一」「興亜奉公日」
1935(昭和10)年 丹那様々伊豆ブ
ーム
◇428 2009.1 B5 4p
「大日本帝国の村」の試練(2)—役
場文書から読み解く日露戦争期
の小室村 加藤 好一
◇429 2009.1 B5 4p
新しい年を迎えて読者から寄せら
れた書簡の一部を紹介 1944昭
和19)年生まれの私、現在も
学びを継続しています 荒井 眸

伊東へ学童疎開中の女子児童の手
記から朝食に耐えた当時の様子
を見ると 1944(昭和19)年、大
晦日から正月元旦にかけて

◆森町考古 森町考古学研究会

〒437-0215静岡県周智郡森町森2124-5
大橋豊店内 TEL0538-85-2209
◇20 2008.12 B5 36p 600円
《森町の中世石塔
—大隅信好さんと石塔調査》
大隅信好さんと石塔研究 大橋 保夫
石塔の様相 足立 順司
石塔を考える 足立 順司
森町の寺院 足立 順司
鰐口と神仏習合 足立 順司
石塔から中世をみる 足立 順司

◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1
TEL052-671-4151 www.atsutajingu.or.jp
◇221 2008.12 A5 32p(抄)
年頭のご挨拶 小串 和夫
熱田社の和歌と文学(22)—宗牧
『東国紀行』・幽斎『東国陣道記』
の場合 八木意知男
熱田神宮の造営遷宮について
—その歴史的展開 野村 辰美

◆安城民俗 安城民俗談話会

〒446-0026愛知県安城市安城町清水23-4
川合正治方 TEL0566-76-6638
◇31 2008.12 B5 10p
書くことの苦楽 斎藤 卓志
春日井の文化財めぐり 渥美 精一
ニウケ(荷受け)の話 阿部 健
回想(1) 川合 正治

◆郷土研究誌みなみ 南知多郷土研究会
〒470-3412愛知県知多郡南知多町大字豊浜
字須佐ヶ丘5 南知多町教育委員会内
TEL0569-65-2880
◇86 2008.11 A5 68p 500円
山海西村区山車彫刻 中村 洋
会長退任のことば 間瀬 正通
会長就任のことば 松本 亀男
内海に於ける松葉と灰の取引 内田 白花
山頭火南知多の旅の疑問(後) 大岩 隆
明治の大教育者「溝口幹日記抄」
—近代文明黎明期と鈴浜義塾
(5) 斎田 茂夫
東海市の沖に伝説の島があった！
村田 修
内海川今昔 内田 辰男
愛知県における明治期の地方誌教
科書(5の1)—明治26年以降の内
容を中心に 永田 文夫
馬防柵考 加藤喜代吉
知多半島南部の伝統漁法(3)—明
治12年漁具絵図下調より 磯部 宅成
平成20年度 南知多町大井におけ
る総会並びに研修会 夏目 俊彦
聖岬(南知多町誌)
南知多の人 折戸耐次 磯部 宅成
◆名古屋民俗 名古屋民俗研究会
〒489-0867愛知県瀬戸市大坂町416-9
伊藤良吉方 TEL0561-84-7044
◇56 2008.11 B5 68p
《協田雅彦さん 喜寿祝特集号》
座談会 協田さん、辿ってきた道
を語る 協田雅彦／協田節子／井上清司
／伊藤良吉／井上善博／大野麻子／
蒲池勢至／鬼頭秀明／倉田勇／小早
川道子／小林昌子／津田豊彦／寺西
功一／服部典子／服部誠／山田正昭

岐阜県の星の方言
—古老の語るオホシサマたち 協田 雅彦
著書紹介
協田さん、辿ってきた道
◆蓬 左 名古屋市蓬左文庫
〒461-0023名古屋市東区徳川町1001
TEL052-935-2173 housa.city.nagoya.jp
◇77 2008.10 A4 8p
展示室1 大陸文化の薫り—清朝
の美術工芸／展示室2 二代徳
川光友の蔵書
展示室1・2 秋季特別展 室町
将軍家の至宝を探る
展示室1 遊びながら学ぶ—江戸
から明治の教育アイテム／展示
室2 尾張名所めぐり
展示室1 桜さくら／展示室2
狂歌の世界
源氏物語千年紀『源氏物語』の世界
◆まつり まつり同好会
〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
TEL0567-37-0441 年5000円
◇70 2008.12 A5 108p 1900円
《特集 続祝福芸》
養蚕と春駒—群馬県利根郡川場村
門前の春駒 板橋 春夫
加賀万歳 田中 久雄
法花寺万歳 久下 隆史
大和万歳について 鹿谷 勲
八戸地方のえんぶり 蒔田 健
祝福芸能の再生に向けての試演—
東京・向島地区での「はるこま」
を事例として 上島 敏昭
資料紹介 むの詞章 鷺野 正昭
◆まつり通信 まつり同好会

〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
TEL0567-37-0441 年5000円
◇538 (48-6) 2008.11 B5 8p 600円
大内沢の獅子舞 石川 博司
上賀茂神社の鳥相撲見学記 鷺野 正昭
京のかぼちゃ供養 土用の丑の日
・冬至の行事を中心に 米田 幸寿
◇539 (49-1) 2009.1 B5 8p 600円
梵天祭と屋根神 大島 建彦
北から南から
第58回全国民俗芸能大会報告 鷺野 正昭
◆史料 皇學館大学史料編纂所報
〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704
TEL0596-22-6462
◇218 2008.12 B5 48p 600円
《皇學館大学史料編纂所創設30周年記念
特別号》
史料編纂所創設30周年にあたって
上野 秀治
伊勢大神宮寺(逢鹿瀬寺)の移転先
をめぐって 岡田 登
高山寺蔵『宿曜占文抄』の伝記史
料 遠藤 慶太
『日本後紀』における平城上皇に
対する叙述—薬子の変を心とし
て 大平 和典
『伊勢二所太神宮神神秘書』再校
訂の要 鎌田 純一
尊氏を高氏と表記すること 岡野 友彦
『唐蠻貨物帳』船頭名索引 荊木 美行
曹洞宗大僧録 可睡斎寛宅が発給
した録所補任状—伊勢廣泰寺文
書・万治二年黄梅廿三日僧録状
の検討 多田 實道
香川敬三が見た明治宮廷の欧風化
上野 秀治
皇學館大学史料編纂所—この十年

の歩み
近畿
◆蒲生野 八日市郷土文化研究会
〒527-0034滋賀県東近江市沖野2-4-3
TEL0748-24-0174
◇40 2008.12 A5 108p
市史を読む会百回記念講演にあた
って 謝辞 出目 弘
市史を読む会百回記念講演
近代小説の東近江市 渡邊 守順
特別寄稿 真冬の仏像めぐり 武村 正義
伝説で追う惟喬親王の足跡(1) 中島 伸男
佐和山城主 堀秀政 高橋 一
「世界のミフネ」の航空兵時代 中島 伸男
掩体壕づくりに参加して 小杉 弘一
戦時下の学校生活 和田 徳蔵
戦争の惨禍を語り継ぐ 久田 政男
湖東の巨匠「沢ちゅうさん」 加藤 幸蔵
沢島忠監督「人と作品」 野村 素一
子どもの遊びいまむかし 村田 昌平
村田昌平さんの急逝を悼む 中島 伸男
談話室 万葉漫步 出目 弘
◆湖国と文化 (財)滋賀県文化振興事業団
〒520-0044滋賀県大津市京町3-4-22
TEL077-522-8369 年3160円
www.shiga-bunshin.or.jp
◇126 2009.1 B5 96p 630円
特集 男女“きらり”フォーラム 編集部
滋賀のかくれ里(10) いかいゆり子
興味津津 私の近江(3) MOTOKO
あの町この町(23) 虎姫町 今関 信子
湖国レディス・アイ(18) 小川 智子
湖国 人・物・風景(16) 苗村 和正
ふるさと四季の味(22) 小川 久子
記者つれづれ日誌(最終回) 鵜飼 修三
湖国の道写真館 高橋与志勝

ごきげんさん(27) 福井朝登さん
辻村 琴美

北から南から
今井信／袖森茂／江竜喜信／西川
清子／奥田安都佐／北村五十鈴

再発見！滋賀の文学(5) 井上 次雄
一寸一服 高穴穂神社の研究(1)
梶原大義／村地彰／
高阪行雄／伊東六雄

大谷昭宏のハートツーハート(20)
「♪知ったかぶりカイツブリ」
大谷昭宏／田村元

水源の森を訪ねて(25) 檀上 俊雄
伝承に見る淡海(24) 黄地百合子
やんちゃ坊主伝(5) 高橋 勉
滋賀の伝説と民話「法界坊の鐘」
渡邊守順／斉藤裕子

編集長対談 湖に生きる(31) 作
家 瀬戸内寂聴さん 根津真澄／馬場和実
続・ふるさと歴史散歩「蒲生氏郷
像」—蒲生郡日野町 早藤 貞二

◆滋賀の食事文化(年報)
滋賀の食事文化研究会
〒520-8533滋賀県彦根市八坂町2500
滋賀県立大学人間文化学部生活文化学科
早川研究室 TEL0749-28-8443

◇17 2008.12 B5 85p
巻頭言 榎 和子
《特集 地元に残したい食材(5)》
ふるさとの暮らしと食・祭り—湖
南の水郷地域を一例として 長 朔男
甲賀の祇園祭における会食料理の
変遷について 長谷川嘉和
滋賀の寺院に伝わる報恩講料理と
食文化の継承 松本 立子
朝鮮通信使と近江
—饗応記録に見る鳥獣類 高正 晴子

坂本の特産物 串岡 慶子
湖北長浜の伝統的な食生活と食材
堀越 昌子

伊香の山椒—独特な風味が食欲を
そそる、料理の名脇役 中村 紀子
昔のアイスクリームについて 粕渕 宏昭

滋賀県の食文化リレー発表会
滋賀の食事文化研究会 平成19年
度活動記録 第95回～第101回
研究会
会報 第95号～第101号

◆彦根城博物館だより
〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1
TEL0749-22-6100
www.city.hikone.shiga.jp/museum/

◇83 2008.12 A4 4p
テーマ展 新収蔵の資料—受贈・
購入作品から—／テーマ展 吉
祥のデザイン—鶴と亀—／シリ
ーズ「直弼発見！」巻の5 弥
千代の雛と婚礼調度／シリーズ
「直弼発見！」巻の6 井伊直
弼の甲冑と刀剣

金亀玉鶴 能面の切型 齋藤 望
直弼のころ—井伊直弼ゆかりの
作品(3) 茶漆塗松笠裏／教育
普及活動のひとつま 平成20年
度「はくぶつかんへ行こうスベ
シャル」／調査研究活動のいま
彦根藩資料調査研究会で大名
道具の調査研究を始めました

◆民俗文化 滋賀民俗学会
〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5
TEL0740-36-1414 年4800円

◇542 2008.11 B5 12p 420円
「萩萩野」(タラノ)について 関 啓司

建部伝内賢文と八景詩(2) 中村 武三
近江伊吹山系の伝承(5)—巨人伊
吹弥三郎と甲賀三郎 馬場杉右衛門
福笹について—長浜市豊国神社 粕渕 宏昭
陶製有孔球(焙炭)について
—名古屋市中区正木町 近藤 真人
島の生活(61)—姫路市家島町 奥山 芳夫
時宗の寺々と民衆を訪ねて
—山形県東置賜郡川西町 佐々木勝夫

◇543 2008.12 B5 16p 420円
人類の平和を推進できる日本人—
各地域社会に順応できる民族性
ほ自覚せよ 菅沼晃次郎

「かまいたち」について
—滋賀県の現象実例報告 長谷川博美

伝内流から徳川御家流を経て公用
書体に至る書法選定における家
康の先見性(1) 中村 武三
近江伊吹山系の伝承(6)
—三修上人と黄金伝説 馬場杉右衛門
大入袋について 粕渕 宏昭
面子(めんこ)について 粕渕 宏昭

尿尿に関する覚書(7)
—サナダムシの有効利用？ 吉岡 郁夫
島の生活(62)—姫路市家島町 奥山 芳夫

彦根城の築造伝承(1)
—直政、関ヶ原奮戦 馬場杉右衛門

「民俗文化」総目次(44) 第532号
(2008年1月)～第543号(2008年
12月)
◇544 2009.1 B5 12p 420円
民族(国)間の紛争解決に聖職者が
平和教育をしよう 菅沼晃次郎

伝内流から徳川御家流を経て公用
書体に至る書法選定における家
康の先見性(2) 中村 武三
近江伊吹山系の伝承(7)
—太平寺城と上平寺城 馬場杉右衛門

藤樹に入門を許された蕃山
—藤樹社と備前やぶ 大村 進

馬棟(ばれん)について 粕渕 宏昭
ランドセルについて 粕渕 宏昭
テントについて 粕渕 宏昭

彦根城の築造伝承(2)
—縄張り、日本一の城 馬場杉右衛門
島の生活(63)—姫路市家島町 奥山 芳夫

尿尿に関する覚書(8)—便所の臭
気・サナダムシの料理(補遺) 吉岡 郁夫

◆京都市政史編さん通信
京都市市政史編さん委員会
〒602-0867京都市上京区寺町通丸太町上る
松蔭町138-1 京都市歴史資料館内
TEL075-241-4312 city.kYoto.jp/somu/rekishi/

◇33 2009.1 A4 8p
戦後初期における京都市失業対策
事業と失対労働者に関わる覚書
(上) 杉本 弘幸

◆古代史の海 「古代史の海」の会
〒615-8194京都市西京区川島栗田町22
中村修方 FAX075-392-3743 年4000円
www.geocities.jp/kodaishinoumi2005/

◇54 2008.12 A5 116p 1500円
巻頭言 歴史の時代区分について 白崎昭一郎

上代特殊仮名の根本的解明(9) 坂田 隆
もう一人の王后 半沢 英一
大分県の手棚を持つ古墳 重村 英雄

会員ひろば
反正記 白崎昭一郎
アンデス通信(7) 市木 尚利
継体末のクーデターについて 山口 順久

ヨーロッパの歴史に見る「半国家」
河野 宏文
茨木と茨田 中村 修

瀬海について 堀口 清視
「日本書紀」と藤原氏の作為を考
える 明賀 猛

◆史迹と美術 史迹美術同致会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入
西大路町146 中西ビル内
FAX075-441-3159 年8000円

◇789 (78-9) 2008.11 A5 44p 960円

斑鳩法輪寺三重塔の露盤 小山 正文
黄檗信仰史(74) 江口 正尊
鰐口の銘文(4) 愛甲 昇寛
鬼瓦百選(68) 小林 章男
普陀山・寧波・天台山から杭州訪
問記(2) 村上 泰昭

第927回例会 奥飛鳥の文化財
伝承を訪ね古代食を味わう 東 暲

◇790 (78-10) 2008.12 A5 44p 960円
多田神社の建築
—幕府造営霊廟を辿る(上) 加藤 繁生
鬼瓦百選(69) 小林 章男
普陀山・寧波・天台山から杭州訪
問記(3) 村上 泰昭

第928回例会 亀岡近郊(西部地域)
の文化財を訪ねて 中尾 純子
口絵写真説明 同志社大学クラ
ク記念館ほか 矢ヶ崎善太郎
夫を悼む 坂田磨耶子
大鳥居総夫さんの『史迹と美術』

掲載記事一覧(2)
第78輯(781～790号)総合目録
◇791 (79-1) 2009.1 A5 44p 960円
鬼瓦百選(70) 小林 章男
多田神社の建築

—幕府造営霊廟を辿る(中) 加藤 繁生
鰐口の銘文(5) 愛甲 昇寛
普陀山・寧波・天台山から杭州訪
問記(4) 村上 泰昭

第929回例会
高知県東部の文化財巡り
嘉津山清／岡村庄造
例会番外編 嘉津山 清

◆史談福智山 福知山史談会
〒620-0884京都府福知山市堀495-3
塩見昭吾方 TEL0773-22-7546

◇676 2008.7 B5 4p
見立番付 朽木昌綱を中心として
嵐 光激

◇677 2008.8 B5 4p
福知山史談会夏の例会報告 緑陰
講座 天寧寺(概要)—編集者よ
り

◇678 2008.9 B5 6p
北近畿の旅 巡禮(1)
『西国順禮細見記』より 嵐 光激

◇679 2008.10 B5 6p
北近畿の旅 巡禮(2)
『西国順禮細見記』より 嵐 光激

◇680 2008.11 B5 4p
福知山史談会 平成20年度秋の例
会 会員研究発表会(報告 編
集者)

◇681 2008.12 B5 6p
多聞院日記や地方伝承にあらわれ
た明智光秀 嵐 光激

◆都藝泥布 京都地名研究会通信
〒617-0002京都府向日市寺戸町二枚田
12-46 網本逸雄方 TEL075-933-5667
年3000円 www.geocities.jp/kyotochimei/

◇27 2008.11 A4 7p
第23回地名フォーラム報告(紫式
部・京の地理的空間 山崎泰正
／源氏物語・宇治十帖を歩く
小寺慶昭／紫式部 越前国府へ

の旅 久保田孝夫)
地名随想
嵯峨野—中院山荘跡を尋ねて 明川 忠夫
第24回京都地名フォーラム
テーマ「両丹地方の地名」
新刊紹介
吉田金彦著『誤解された万葉語』

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより
〒603-8577京都市北区等持院北町56-1
TEL075-465-8151
www.ritsume.ac.jp/kic/a06/

◇45 (16-2) 2008.12 A4 24p
スポット 学童集団疎開給食日誌
巻頭つれづれ

思いがけない出来事 安斎 育郎
館長だより 勇気と信念—二人へ
の追悼、何を受け継ぐのか 高杉 巴彦
ミニ企画展開催報告(2008年9月～
2008年12月)
ここが見どころ ビデオコーナー
「ベトナム戦争」—平和教育の次
へのステップのために 桂 良太郎

運営委員リレー連載 平和の担い
手をどう育てたらよいのか—国
際平和博物館会議のなかで学び、
考えたことに 藤岡 惇
ミュージアムおすすめの一冊 田
中正著『湯川秀樹とアインシュ
タイン—戦争と科学の世紀を生
きた科学者の平和思想—』
文字・活字文化の日特別企画「平
和って何色?」 久保 裕之
事業報告

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報
〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円

◇251 2008.11 B5 12p
玄順家 北山 理
戦時体制下の佐野町—町葬(3) 樋野 修司
移行期の群像(64)
寺僧の人々(25) 井田 寿邦
◇252 2008.12 B5 10p
浅野秀肥の城跡絵図を歩く(3) 白石 博則
聞書・下城家先祖よりの伝言

下代毅／北山理
紹介 中庄湊の日根野家系図 井田 寿邦
◇253 2009.1 B5 12p
聞書・軍役と田尻町役場(上)

榎井賢三郎／北山理
「根来政権」と民衆(1) 井田 寿邦
我が家の宝物が一つ加わる 加茂 甚作
◇254 2009.2 B5 12p
藤田氏による野出墓地の三界萬霊
塔(天保飢饉の碑)の修理 事務局
天保飢饉の「三界萬霊塔」の修復 北山 理
手記 藤田カヨ子
犬鳴山の伝承(1)
犬鳴山の由来(上) 樋野 修司

◆大阪歴史懇談会会報
〒596-8691大阪府岸和田郵便局私書箱18号
FAX0724-38-4487 年5000円
www.homepage2.nifty.com/rekikon/

◇291 (25-11) 2008.11 B5 12p
歴史の物差し＝暦の話
来年は閏年? 上田 雄
10月例会報告(第266回)「戦争は
人間を鬼に変える—戦国の『ゲ
ルニカ』大坂夏の陣屏風絵をめ
ぐって」／古代史講座 第155回
「日本律令体制 あすか時代」
見学会こぼれ話 源氏物語千年紀
によせて パトロン道長とその
時代 稲垣 隆造

◇292 (25-12) 2008.12 B5 12p
 歴史の物差し＝暦の話
 カレンダーの季節 上田 雄
 11月例会報告(第267回)「石山合戦と戦国雑賀衆」／古文書講座
 第114回「奉行所差日不参・遅参につき触れ」
 10月見学会報告 世界歴史遺産・東大寺界限を歩く 尾原 隆男
 11月見学会報告 道鏡縁の「弓削神社」から中の太子「大聖勝軍寺」 川村 一彦
 ◇293 (26-1) 2009.1 B5 12p
 年頭の辞 松坂 定徳
 12月例会報告(第268回)「実像に迫る！ 蜂須賀小六正勝」／古代史講座「反王道体制・荘園武士勢力→中世へ」
 見学会こぼれ話(4) 源氏物語千年紀によせて 道長と周囲の日・藤原家の没落 稲垣 隆造
 歴史の物差し＝暦の話 義士の討ち入りは1月30日？ 上田 雄
 ◆家系研究協議会会報
 〒567-0842大阪府茨木市五十鈴町1-26
 島野穰方 TEL072-634-5909 年5000円
 www.geocities.jp/kakenkyou/
 ◇27 2009.1 B5 8p
 世界的「変」に対応し、会員相互に、助け合いましょう 安居 隆行
 家系研究協議会 平成20年度秋の例会報告
 歴史の回想・家系史散策(14)(『大阪歴史懇談会会報』より) 小村 克己
 珍名さんいらっしゃい(24) 眞野 幹也
 ご挨拶 宝賀 寿男
 家研協たより／図書出版案内／受

贈図書・資料
 ◆河童通心 和田寛
 〒591-8021堺市北区新金岡町5-4-327
 TEL072-251-2586 年2400円
 ◇301 2008.11 A5 16p
 河童の文化史 昭和後期(7) 和田 寛
 ◇302 2008.12 A5 16p
 河童の文化史 昭和後期(8) 和田 寛
 ◇303 2009.1 A5 18p
 河童の文化史 昭和後期(9) 和田 寛
 ◆近畿文化 近畿文化会
 〒543-0021大阪市天王寺区東高津町11-9
 日本生命上本町ビル5階
 TEL06-4304-7433 年2200円
 ◇708 2008.11 A4 12p 300円
 伊賀の古墳 猪熊 兼勝
 近鉄の近代建築(6) 奈良ホテルから旧志賀直哉邸へ 川島 智生
 奈良県立橿原考古学研究所創立70周年記念 秋季特別展『宮都飛鳥』によせて 松田 真一
 ◇709 2008.12 A4 8p 300円
 當麻寺の堂塔と久米寺多宝塔 矢ヶ崎善太郎
 太子町・河南町を歩く―横穴式石室と一家形石棺を探る 泉森 皎
 ◇710 2009.1 A4 12p 300円
 大和の吉祥天 関根 俊一
 伊勢の神宮と小俣・玉城町の史跡 岡田 登
 近鉄の近代建築(6) 生駒山上開発と別荘地―ブルーノ・タウトの「生駒山嶺小都市計画」と本間乙彦の小住宅群 川島 智生
 ◆つどい 豊中歴史同好会
 〒560-0884大阪府豊中市岡町北2-8-11

山口久幸方 TEL06-6857-4959
 homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/
 ◇256 2008.5 B5 16p
 〈文化財講演会09 豊中歴史同好会設立20周年・『つどい』250号記念 特集「五世紀のヤマト政権を探る」(1)〉
 20周年記念文化財講演会を終えて 山口 久幸
 歴同設立20周年記念大会を終えて 宮田佐智子
 講演会記録 開会あいさつ 後藤 順一
 事例報告 五世紀の豊中 清水 篤
 基調講演1 五世紀のヤマト政権と北摂 福永 伸哉
 ◇257 2008.6 B5 24p
 〈文化財講演会09 豊中歴史同好会設立20周年・『つどい』250号記念 特集「五世紀のヤマト政権を探る」(2)〉
 基調講演3 倭の五王の外交政策 坂元 義種
 パネルディスカッション 福永伸哉／塚口義信／坂元義種／水谷千秋／清水篤
 第21回定期総会
 ◇258 2008.7 B5 22p
 〈文化財講演会09 豊中歴史同好会設立20周年・『つどい』250号記念 特集「五世紀のヤマト政権を探る」(3)〉
 ◇258 2008.7 B5 22p
 基調講演2 五世紀のヤマト政権と大王 塚口 義信
 閉会あいさつ 山口 久幸
 岩橋千塚古墳群と紀伊風土記の丘 草川 英昭
 塚口先生と訪ねる 出雲の古代を探る旅(3) 古高 邦子
 ◆ヒストリア 大阪歴史学会
 〒564-8680大阪府吹田市山手町3-3-35

関西大学文学部 西本昌弘気付
 www.soc.nii.ac.jp/historia/
 ◇212 2008.11 A5 124p 1000円
 《特集 近つ飛鳥・磯長谷古墳群と蘇我氏》
 特集にあたって 大阪歴史学会委員会
 「近つ飛鳥・磯長谷古墳群と蘇我氏」報告 大阪歴史学会委員会
 磯長谷古墳群の概要 池田 貴則
 近つ飛鳥と磯長谷 山本 彰
 河内飛鳥と大王と蘇我氏 水谷 千秋
 5～7世紀における石川流域の動向
 とヤマト政権 高松 雅文
 まとめと展望 大阪歴史学会委員会
 近世柳井の市の展開と地域社会 久角 健二
 農民一揆と地方民会―西南戦争期における熊本県民会を事例に 今村 直樹
 わたしたちの文化財 平野屋新田
 会所―大阪府大東市所在 佐久間貴士
 報告 2008年度「第24回歴史学入門講座」の記録 新谷 和之
 委員会報告
 ◆枚方市史年報
 枚方市立中央図書館市史資料室
 〒573-1159大阪府枚方市車塚2-1-1
 TEL050-7105-8154
 ◇11 2008.4 B5 66p
 17世紀摂津・河内における治水政策と堤外地土地利用規制 村田 路人
 近世楠葉南組の村落構造と今中家 熊谷 光子
 史料紹介 「誓円ノ日記」(1) 馬部 隆弘
 事業概要 平成18年度事業
 ◆あわじ 淡路地方史研究会
 〒656-0053兵庫県洲本市上物部161-8
 TEL0799-24-1512 年6000円
 ◇26 2009.1 B5 103p

古道を歩く―誕生曼荼羅余光の道
濱岡きみ子

渡来の神 天日槍命の謎
―神話と遺跡を通して 五島 清弘

八丈島へ流された蜂須賀家臣 武田 信一
享保年間に降の津井村瓦師の動き
北山 學

「熊神籬」について(1)―鈴木重胤
は「常磐草」「淡路草」をどう
詠んだか 高田 成樹

女帝孝謙と淳仁天皇の時代 神田 久雄

阿久悠―昭和の名作詞家 大江 恒雄

言霊の幸はふ国、淡路島のことは
(2) 伊郷 好文

明兆・雪舟の水墨画 安らぎの世
界を求め 東 雅山(雅雄)

編集余滴 北原 文雄

鍼灸随想 羽田 功一

第8回松風会吟行島めぐり 木下雅松(弘康)

新緑の宝塚方面を訪ねる
―第47回地方史バスツアー 上崎 雅子

研究会バス旅行を謳う(15)
源氏物語千年紀石山詣での旅 生田 静子

報告／淡路地方史研究会例会記録

◆史料ネット NEWS LETTER
歴史資料ネットワーク
〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1
神戸大学文学部地域連携センター気付
TEL078-803-5565 年1000円
www.lit.kobe-u.ac.jp/~macchan/
◇56 2009.1 A4 12p
巻頭言 震災という“経験” 川内 淳史
特集 シンポジウム「震災・記憶
・史料」 板垣 貴志
参加記 松田 聡子
山形文化遺産防災ネットワークの
活動紹介 手代木美穂

書評『地域社会からみた「源平合
戦」』 山田 路

◆西宮文化協会会報
〒662-0974兵庫県西宮市杜家町1-17
西宮神社内 TEL0798-33-0321
◇488 2008.11 B5 8p
おしゃれ小話
男のファッション適齢期 村山 昇
伊勢参宮本街道を歩く(29) 吉井 貞俊

◇489 2008.12 B5 8p
西の宮 その地名と町名のルーツ
西宮神社と関わる四町について
村岡 和繁
叡山紀行 江寄健一郎
伊勢参宮本街道を歩く(30) 吉井 貞俊

平成版東海道五拾三次
◇490 2009.1 B5 8p
ちょっと昔の話(10)
戎さんの思い出 楠井 都志
源氏物語の愉しみ方を聴講して 江寄健一郎
伊勢参宮本街道を歩く(31) 吉井 貞俊

平成版東海道五拾三次 吉井 貞俊

◆あかい奈良 グループ丹
〒630-8144奈良市東九条町6-4 TEL0742-62-
3408 年2500円 www.akai-nara.net
◇42 2008.12 A4 46p 500円
小さな奈良の物語(2) 銅鳥居
特集 道長 大和路を行く
―『扶桑略記』を読む
年に一度ののんびり連載 春日若
宮おん祭 装束賜り式の饗応料
理
心の風景 あかり―新薬師寺の
井上博道／西村博美

あかい奈良インタビュー
奈良朝文化史家 関根真隆氏

あかい奈良が行く古社寺巡礼
奈良市 伝香寺

小特集 茅葺き屋根のある風景
今日見心親 正倉院宝物の復元模
造(2)―もう一つの「本物」を
創る
大和彩食館 大和の野菜に魅せら
れて(6) 冬・椿尾ごんぼ 三浦 雅之

奈良の伝統行事(34) ネギサン、
ポッシリ―河合の弓引き行事 鹿谷 勲
季の詞 眠る 矢野建彦／矢野桃苑

◆大美和 大神神社
〒633-8538奈良県桜井市三輪
TEL0744-42-6633 www.oomiwa.or.jp
◇116 2009.1 B5 76p(抄)
頌 春 鈴木 寛治
三輪山にかかわる歌あれこれ
―見え隠れする対応関係 青木 生子
三輪山伝承の再検討 佐佐木 隆
三輪山セミナー講演録
三輪山神婚伝承の意義 上田 正昭
三輪山セミナーイン東京講演録
山辺の道・上つ道と古代の都・
墳墓の世界 水野 正好

國學院大學伝統文化リサーチセン
ター資料館における山ノ神遺跡
復元模型の製作について 加藤 里美

◆吉野路 樋口昌徳
〒638-0001奈良県吉野郡下市町阿知賀3290
TEL0747-52-9098
◇119 2008.11 A5 20p
吉野路の点景(48) 天辻峠から望
む十津川郷の山並み(五條市大
塔町天辻)
吉野路に見る南朝の遺跡(67) 西
吉野(五條市)に南朝の跡を見る

(42) 賀名生(あの方)とその周
辺の遺跡
吉野路の植物(26) 巨木・古木た
ち(12) 下市町阿智賀 白髭神
社境内の「ムクの巨木」
吉野路の名水(21) 東吉野村大又
「七滝八壺」環境省認定「平成
の名水」
図書紹介『節斎』著者・飯田全紀
／『熊野大神』監修・加藤隆久
道標(96) 多武峰から吉野への道
(6)「竜在峠道」と「細峠道」
天誅組の変 郷土出身の義士の活
躍(11) 郷土出身の義士の活躍
(10) 十津川郷土・深瀬繁理

◆紀南・地名と風土研究会会報
〒646-0003和歌山県田辺市中万呂207
桑原康宏方 TEL0739-22-0483 年2000円
◇44 2008.12 B5 21p
浦神地区(那智勝浦町)の微細地名
田中 弘倫
尾上柴舟の熊野詠 中瀬 喜陽
十津川村の庚申塔 堀 敏実
中央標の謎 桑原 康宏
岸和田城と岸和田古城問題につい
て 田中 伸幸
種痘法を開発した小山肆成 吹揚 克之

◆熊野 紀南文化財研究会
〒646-0024和歌山県田辺市学園6-3
濱岸宏一方 TEL0739-25-0657 年3000円
◇135 2008.11 A5 86p
山岳信仰遺跡を読み解く(2)
―滝尻王子 山本 義孝
近世田辺領における追放刑(流罪)
について―田辺の町と田辺組を
中心に 芝 英一

旧本宮町・旧熊野川町に遺された
熊野参詣道について 辻田 友紀
南方熊楠宛中山雲表書簡
中瀬喜陽／濱岸宏一
文化財ニュース・会合メモ

中国・四国

◆北東アジア文化通信

鳥取短期大学北東アジア文化総合研究所
〒682-8555鳥取県倉吉市福庭854
TEL0858-26-1811

◇32 2008.12 B5 6p

アジア民間説話学会

—その歩みと今後の展望 鶴野 祐介
アジア民間説話学会に出席して 酒井 董美
アジア民間説話学会に参加して
—日本の語りと韓国の語り 齊木 恭子

◆郷土石見 石見郷土研究懇話会

〒697-0034鳥根県浜田市相生町2139-15
児島俊平方 TEL0855-22-2567

◇79 2008.12 A5 140p 1200円

「石見銀山」研究者の足跡を偲ぶ
(4)—『郷土石見』の先人たち 竹内 幸夫
古代邇摩の世界と国分寺霹靂神社

関 和彦
銅ヶ丸鉾山の盛衰 森脇 登
続 人麻呂と石見国とその周辺 小林 俊二
近世・石見の鉦製鉄を探る(5)
—銀山領の産鉄・天秤轡の碑 児島 俊平
青春残照—七転び、八転びで 下垣 秀典
石見の民話(4)

フィールド・ノートから 田中 瑩一
石見国鑄物師頭領山根家の足跡
(補遺) 石津 確
賀茂別雷神社領久永庄について
(1) 富永美恵子
儒学者佐和華谷に学ぶ

—わが町の碑 藤原 昊
千葉からの「郷土石見」桜江大会
交友録 吉田 豊明
秋の病室にて 牛尾 光國
百姓ばあさんの独りごと(2) 大屋 幸子
中世における吉賀地方の戦の“一
端” 橋本 雅夫
袖口のボタン—森鷗外の「うた日
記」より 林 量三
平成20年度石見郷土研究懇話会研
究大会

◆宇喜多家史談会会報

〒700-0826岡山市磨屋町6-28 光珍寺内
TEL086-222-2028 年2000円

◇29 2009.1 A4 10p

宇喜多秀家の八丈島の暮し 柴田 一
岡家利の残影 大西 泰正
宇喜多氏古伝と三宅氏由緒を考え
る(1) 矢吹 壽年
物語直家記伝 山重十五郎

◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会

〒704-8113岡山市西大寺2-6-36 村上岳方
TEL086-942-6156 年1500円
homepage3.nifty.com/okayama-chiho/chiho/c-main.htm

◇116 2009.1 B5 38p

〈小特集 史料は語る〉

宇喜多秀家と「鷹」—「千原家家記」
所収宇喜多秀家判物写について
畑 和良
林原美術館所蔵池田輝政自筆消息
について 内池 英樹
安政4年の紙幣目録—幕末期備中
一橋領の通貨事情 古賀 康士
書評
妻鹿淳子著『近世の家族と女性
—善事褒賞の研究』を読んで

藤實久美子
『上郡町史 第一巻 本文編Ⅰ』
大西 泰正
博物館・展示会めぐり 岡山県立
記録資料館企画展「近代おかや
まの博覧会」を見て 山下 洋

◆岡山藩研究 岡山藩研究会

〒169-0051東京都新宿区西早稲田
早稲田大学文学部 紙屋研究室内
www.waseda.jp/assoc-okayamahan/

◇58 2008.11 B5 14p

〈第16回総会の記録〉

報告要旨(レジュメ) 近世宗教の
「邪正」—宝暦期肥前国対馬藩田
代領における異法一件を中心に

大橋 幸泰

討論要旨

参加記

大橋幸泰氏の報告を聞いて 村井 早苗
近世宗教の「邪正」—宝暦期肥
前国対馬藩田代領における異
法一件を中心に—を聞いて 日比佳代子

◆きび野 岡山県郷土文化財団

〒700-0813岡山市石関町2-1
TEL086-233-2505

◇112 2009.1 A5 18p

年頭にあたって 石井 正弘
随想 道 松嶋 一倫
随想 鶴の婿探し 山本 利幸
岡山の自然 黄金杉 池上 博
岡山の文化財
大黒天とだいこくさま 中田利枝子
岡山の人物 森忠政 尾島 治
岡山の文学碑 田村翠雨 若松 拳史
わが町・わが村の自慢
出雲街道土居宿(美作市)

岡山の匠 溝手勝次(倉敷花筵)
地域文化創造に向けて 岡山県農
山漁村生活交流グループ協議会
美術館・博物館めぐり
総社市まちかど郷土館(総社市)

◆芸 備 芸備友の会

〒731-0135広島市安佐南区長束1-4-12-10
小都隆方

◇36 2008.11 B5 94p 1000円

《特集 古代遺跡の地域相研究》

「考古学から見た郷土の歴史」

講座の報告

発掘調査から見た備後国府跡 土井 基司
備後寺町廃寺について 和田 崇志
芦田川における古代の渡河施設

—備後国府付近の古代山陽道

と後開地遺跡 中山 学

備後三谷郡内出土の円面硯—史跡

寺町廃寺跡と上山手廃寺周辺部

の採集資料報告 和田 崇志

安芸国分寺跡03型式軒丸瓦につい

て—瓦当文様が示唆する9世紀

代の国分寺 中山 学

郡山城跡採集の瓦について 小都 隆

近世後期の伝世鏡—平田玉蘊所蔵

の古鏡群 八幡浩二／脇山佳奈

御年代古墳の測量調査報告 脇坂 光彦

遺跡・文化財の動向 芸備友の会

◆山城志 備陽史探訪の会

〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
TEL084-953-6157

◇19 2008.11 A4 64p

亀寿山城と宮氏 田口 義之

足利義昭の上國について 小林 定市

京都にある天皇陵界隈探訪 足立捷一郎

福山市大門町の辻堂 後藤 匡史

戦国三好党を尋ねて(3) 三好 勝芳

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会

〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8

TEL084-953-6215

◇145 2008.12 A4 20p

これで良いのか福山城 田口 義之
鬼が笑う話

—南山城一泊旅行下見報告 平田 恵彦

鍋蓋と串山 根岸 尚克

レッドクリフ—赤壁 野母 寿子

徳川家康 死の真相 高橋 光雄

読書雑感 岡田宏一郎

特別遺稿 村上 稔

斎王群行の道をゆく(下) 坂井 邦典

わが町の秋祭り 種本 実

大分府内城界隈 後藤 匡史

◆みよし地方史 三次地方史研究会

〒729-4304広島県三次市三良坂町三良坂

新祖隆太郎方 TEL0824-44-2694

◇77 2008.12 B5 14p

郡山城内にあった和智氏の屋敷 新祖隆太郎

阿久利姫の心願・勧請した若宮さ

んの淡島神社—十日市八幡神社

境内 後藤千賀子

三良坂町藤坂の地藏菩薩と釈迦如

来 中畑 和彦

世羅郡宇賀村の貢租関係文書につ

いて(2) 藤原 一三

史料紹介 明治35年の字規約書

—酒河村大字青河のこと 米丸 嘉一

三次地方の珍しい地名(11) 江田

川之内町(えたがわのうちまち)

／塩貝(しおがい)

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会

〒723-0062広島県三原市本町1-9-27

TEL0848-62-2935

◇212 2008.11 B5 12p

今月の各地

小坂の自然をもう一度 羽藤 文雄

総会記念講演会 橋本敬一先生

「江戸時代の三原」(要旨完結編)

鈴木 健次

秀吉と三原(4)

—九州往復で通った道の推定 大谷 和弘

トンネルが拓いた給・排水路(1) 鈴木 健次

◇213 2008.12 B5 12p

今月の各地 お地藏さんの大遷宮

鈴木 健次

バス研修旅行感想文

山陰に旅す(興源寺詣で) 福岡 幸司

興源寺とその周辺を巡る旅に参

加して 行武 郁子

出雲を訪ねて 川上 哲司

山陰地方出雲の地を訪ねて 大本 静人

秀吉と三原(完結編)

—九州往復で通った道の推定 大谷 和弘

◇214 2009.1 B5 12p

新年のご挨拶 上田 嘉信

夢 福岡 幸司

井上春忠とその後(1) 大谷 和弘

いも地藏と下見吉十郎(完結編) 坂井 吉徳

◆徳島県立博物館ニュース

〒770-8070徳島市八万町向寺山 徳島県文

化の森総合公園 TEL088-668-3636

www.museum.tokushima-ec.ed.jp

◇73 2008.12 A4 8p

宮谷古墳 高島 芳弘

Culture Club テグスになった蛾 大原 賢二

情報ボックス 江戸時代に徳島藩

はなかったという話 長谷川賢二

平成20年度特別陳列

空からみた徳島

館蔵品紹介 鉄丸石 中尾 賢一

Q & A 「マイキリ」は大昔の火

おこしの道具ではないと聞いた

のですがほんとうですか? 魚島 純一

◆新居浜史談 新居浜郷土史談会

〒792-0023愛媛県新居浜市繁本町8-65

新居浜市生涯学習センター内

TEL0897-33-2991

◇374 2009.1 A5 40p 500円

年頭の辞 喜代吉榮徳

別子銅山山役人・鈴木武平の墓標

調査 住友(泉屋)と鈴木の深い

信頼関係 曾我 幸弘

私の歩んだ教育(1)

—回想と学校沿革 千葉 富雅

四阪島(1) 藤田 二郎

新田運動場 芥川 三平

詩 今日 芥川 三平

語り伝えて 振り返って知る／健

康長寿の鉄則 小野 清恒

寂光庵大師堂 宝篋印塔について

真木 孝

「御用留帳」摘抄録(6)—明治3・4

年 大生院村 高橋家文書 喜代吉榮徳

◆秦史談 秦史談会

〒780-0023高知市東秦泉寺283

松本紀郎方 TEL088-875-6671

◇148 2008.11 B5 48p

9月例会座談会

グッド・タイミング

平成11年 季節の歴史(1) 南 寿吉

本県出身 高僧・義天玄詔を顕彰

(『高知新聞』より)

リベラル劇場 M生

新京橋と京橋について 松本 紀郎

拝啓 松浦少尉殿 毛利 俊男

ミクロネシア大統領一行来日、来

高—秦山の先祖の墓参 松本 紀郎

宗安寺歴史考 広谷喜十郎

昭和の記憶(4) 中畑 中道

歴史は生まれる

—史跡めぐりからニコマ 松本 紀郎

婉から学ぶこと 広谷喜十郎氏の

講演から(新聞から)

民権ばあさん物語「馬とはちきん

さん」 久米生太子

秦の昔話(20)

「一の谷の怪」(四谷の巻) 永野美智子

天誅組紀行 岩崎 義郎

岡村庄造氏拓本集から(10) 岡村 庄造

トピックス2題

◇149 2009.1 B5 52p

大榎木物語 森本 登

昭和の記憶(5) 中畑 中道

チエリ抄(1) 永国 淳哉

香酸柑橘の会に参加して 広谷喜十郎

土佐橋 藤本 知子

平成19年 季節の歴史(2) 南 寿吉

土佐五色石のはなし 久保田昭賢

桜井戸物語(1)

—神力山要法寺境内 毛利 俊男

バツハのルーツ 二つの旅から 永野美智子

民権ばあさん物語「馬とはちきん

さん」 久米生太子

秦泉寺に住んだ歴史上の人びと

(3) 松本 紀郎

山内容堂 広谷喜十郎

大河ドラマ「龍馬伝」を前に

龍馬と岩崎弥太郎(1) 岩崎 義郎

秦泉寺ホノギ図(南半) 松本 紀郎

文化祭出品一覧

岡村庄造氏拓本集から(11) 岡村 庄造

九州・沖縄

◆季刊 邪馬台国 梓書院

〒812-0044福岡市博多区千代3-2-1

麻生ハウス3階 TEL092-643-7075

◇100 2008.12 A5 280p 1300円

《100号記念号》

グラビア 表紙で振り返る『季刊

邪馬台国』の歴史

巻頭言 考古学のために愁う 安本 美典

100号記念祝辞

麻生太郎／麻生渡／川崎隆生／志

村有弘／田村圓澄／中村彰彦／古

川薫／安永露子／山崎拓／吉田宏

〈100号記念古代史エッセイ〉

二つの古代史観 穴沢 咏光

新撰姓氏録随想 荊木 美行

創刊から三十年の厚みに 壺岐 一郎

魏志倭人伝とネグリトの島 尾本 恵市

畿内における前期古墳の石櫛材か

らみた地域集団 奥田 尚

邪馬台国論争と志賀島 折居 正勝

天皇陵は同時代最大の古墳だった

のか 小澤 毅

邪馬台国研究の先達二人の業績の

一端 大谷 光男

卑弥呼と百襲姫の最期 岡本 健一

私の「邪馬台国」行 小田富士雄

古代史における真実 岡 博

考古学報道雑感 川村 泰道

卑弥呼の墓 加藤 哲也

北野遺跡5号墳のルーツと斎部

(忌部)氏 金田 弘之

『季刊邪馬台国』との四半世紀 下司 和男

「古代の謎」への解釈と批判 齋藤 隆一

単純な九州王朝論者ではない 斎藤 忠

前期旧石器時代遺跡捏造事件その

後 竹岡 俊樹

海からみた常識は非常識か 道家康之助

宗像に思う 西谷 正

古代史の魅力にとりつかれ

卑弥呼に惚れた男

誤謬と捏造に学ぶ歴史

「古代史ボーイ」の煩悶

編集者との奇縁・二題

文化財保存の道のりを検証する

インターネット時代の古代史研究

特集 箸墓古墳の年代・挙行の報

道 藪田紘一郎／新井宏／安本美典

おかしいぞ!! 国立歴史民俗博物

館の炭素14年代、最近の発表

激論・邪馬台国(2) 邪馬台国は、

畿内か九州か ホケノ山古墳の

年代—纏向古墳群は、いつ作ら

れたのか 石野博信／安本美典

『季刊邪馬台国』100号への軌跡 河村 哲夫

「水行十日・陸行一月」の起点 奥野 正男

三角縁神獣鏡の微量成分問題(再

論) 泉屋博古館の「釈明」も

重大な誤り 新井 宏

記紀等の陵墓記載の信頼性

古代宮都探求の前提として 入倉 徳裕

◆ふるさとの自然と歴史

歴史と自然をまもる会

〒810-0001福岡市中央区天神1-15-30

福岡市文学館内 TEL092-781-7802

◇325 2008.11 A4 33p 500円

私の自然観 井上 晋

福岡市の鳥たち(24) 白石 哲

七支刀の銘文と倭の武器にまつわ

る説話 長 洋一

野生植物を訪ねて(98) 北薩摩の

エドヒガン・ハナガガン 井上 晋

いしぶみ訪問(117)

西大橋・西中島橋 那須 博

福岡の通史 青木 晃

花田 達郎

原田 種秀

原田 実

三上 喜孝

岬 茫洋

三輪 嘉六

山口 昌美

山口 昌美

山口 昌美

山口 昌美

山口 昌美

山口 昌美

山口 昌美

山口 昌美

山口 昌美

山口 昌美

山口 昌美

山口 昌美

山口 昌美

山口 昌美

山口 昌美

山口 昌美

山口 昌美

山口 昌美

山口 昌美

山口 昌美

山口 昌美

山口 昌美

山口 昌美

山口 昌美

山口 昌美

山口 昌美

山口 昌美

山口 昌美

山口 昌美

山口 昌美

山口 昌美

山口 昌美

続・野村望東尼書翰集見つかる

(32) 世情にあたふたする京都

藩邸 国元の様子報告 小河扶希子

神功皇后とその他の伝説 青木 晃

本会の歴史探訪から

大宰府鴻臚館物語(12) 塩屋 勝利

美術館・博物館等文化施設だより

／探訪と催し

◆末盧国 松浦史談会

〒847-0824佐賀県唐津市市田2118-1

TEL0955-73-3549 年2000円

◇176 2008.12 B5 20p

国指定重要文化財 薬師如来坐像

志佐 憚彦

東アジア世界の新たな展開を見す

える第7回武寧王祭りを参観し

て 尹 龍熾

唐津焼始原期の謎(6)—なぜ城周

辺に岸岳八窯を置いたか 朝鮮

の先進窯技術を波多独占か(2)

中里 紀元

呼子芭蕉塚の「謎」を訪ねて 金子 政則

松浦川の鰻と秀吉 寺沢 光世

高橋是清と辰野金吾

—『高橋是清自伝』から 松本 築

渡来人と稲作文化 堀川 義英

獅子城跡発掘調査速報—「一の曲

輪」大手虎口の発見 坂井 清春

東北の赤子養育政策が唐津へ流動

—政策の流動がもたらしたもの

斉藤 友美

ロザリオの島を巡る旅(1) 佐々木市太郎

◆浜木綿 五島文化協会

〒853-0002長崎県五島市中央町3-26

カメラのササキ内 TEL0559-72-2409

◇86 2008.11 A5 156p (抄)

元気です。そして感謝を

ある日の試み! 夢!

梅の季節がやって来た

五島歳時記 福江みなとまつり

私の感動した短歌(12)

ふるさとの絆は固く 「五島の芸

能」国立劇場上演(H20.6.28)顛

末記 松原 剛

五島賛花

福江島サザンカ紀行(4) 松島 嘉助

「悲喜交々至る」

—出会い、感謝、別れの間で 山中 彦昭

マロニエの花とサンザシと

—独塊仏駆け足の旅 坂口 進

ある偶然(18)

対馬への道—ルーツを求めて 比留木忠治

父の手紙に見る激動の「昭和」(2)

内海 紀雄

富江騒動始末記 竹山 和昭

至福の夏 はらかつおき

◆もやい 長崎人権・学

NPO法人長崎人権研究所

〒850-0048長崎市上銭座町2-7

TEL095-847-8690 年5000円

homepage3.nifty.com/naga-humanrights/

◇56 2008.10 A4 60p 700円

人権教育の地域推進事業

全校で取り組んだ集団作り

対馬市立佐護中学校職員集団

シリーズ文学の舞台を訪ねて(8)

小値賀島・天主堂の孤独 「火

宅の人」(檀一雄)の島を往く 田中 良彦

ひとシリーズ(8)

私にとっての同和(人権)教育 石村 榮一

シリーズ人権を考える(8) 採用

にあたって企業は?—長崎県の

具体例 傳 均

非人と呼ばれた人たち 阿南 重幸
Library 近刊書／人権関係新聞
記事 ひろい読み

◆熊本歴史叢 熊本歴史学研究会
〒861-2242熊本県上益城郡益城町木山487
松野國策方 TEL096-286-4397 年3000円

◇13 2008.11 B5 104p 1000円
巻頭言 松野 國策
「八色の姓」をめぐる諸問題 中西 敏男
俵山が示す熊本県大津地域のかす
かな歴史 安達 武敏
鹿子木荘寄進に関する人的関係 中村 一紀
加藤清正・小西行長の相剋 岩本 悦
先人医師たちの実践に福祉を見る
坂口 寛治
文選読と地名 上村 重次
時習館覚書き 水野 公寿
細川壽姫と「荒仕子」清七 蓑田 勝彦
明治十年春の木山町 松野 國策
「一夫一婦」制度の成立をめぐって
小田 省二
新町のかたち 川・堀・鉄道 福田 晴男
肥後細川家—家臣の御家譜につい
ての検討 寺井 正文
河井継之助の旅日記『塵壺』と肥
後来遊について 小田 大道
科学機器導入以前のこと
—牛深漁民の記録(1) 山下 義満
人吉・大口方面巡見記(18)
大分市の肥後路を辿る(19)

◆西南戦争之記録 西南戦争を記録する会
〒870-0134大分県大分市猪野813-3
高橋信武方 TEL097-521-9205
◇4 2008.10 A4 280p 2500円
塚本長民宛の野村忍介(助)書簡 田中 茂
熊本鎮臺歩兵第十三聯隊第二大隊

第二中隊山田為藏従軍日記 菖蒲 和弘
宮崎県西米良村天包山の戦跡 堀田 孝博
鎮台草・西郷草 堀田 孝博
戦闘録—九州地方出張中日記 坂井 政治
竹田戦開戦前夜の真相 藤島 純高
朝地町中熊の目撃伝承 高橋 信武
九州略図 坂井 政治
和田越・可愛岳周辺の踏査の目的
高橋 信武
来翰及探偵戦闘報告 足達 計司
和田越～無鹿山の戦跡 横澤 慈
小梓峠～長尾山～長尾山北方の戦
跡 横澤 慈
可愛岳の踏査 横澤 慈
大峡谷川北側尾根の戦跡 高橋 信武
可愛岳西北尾根の戦跡 高橋 信武
可愛岳北側尾根の戦跡 高橋 信武
日の谷南側尾根の戦跡 高橋 信武
和田越の戦闘から可愛岳の戦闘ま
での経過 高橋 信武
西南戦争時の木製鑑札 坂田幸之助
騎西安遷史料の紹介 坂田幸之助

◆鹿児島民俗 鹿児島民俗学会
〒890-0056鹿児島市下荒田4-1-18
阿多利昭方 TEL099-253-1775 年4000円

◇134 2008.10 B5 78p
鬼の出る太鼓踊
—ごちょう踊(表紙解説) 所崎 平
廃仏前夜の日本情勢 名越 護
生食の遺風＝廉の日の衆、八つ頭、
水の子 牧 民郎
不思議な言葉—山のクライドリと
海のサンコンメ 下野 敏見
徳之島民俗文化の研究課題
—ハブとの出会いから 本田 碩孝
鮑と浮世絵考(後) 小川 三郎
みんぞく・かわらばん

膝痛対応策 牧 民郎
「田の神講」の事例
—旧日置郡郡山町を調査して 牧島 知子
「兄玉實則日記」について
—明治11年(後半) 所崎 平
伝承・芸能キャンペーン資料 所崎 平

◆季刊 沖縄 (助)沖縄協会
〒100-0013東京都千代田区霞が関3-6-15
グローリアビル7階 TEL03-3580-0641
homepage3.nifty.com/okinawakyoukai/
◇35 (13・3・4) 2008.10 A4 44p 300円
道州制論議と沖縄 仲地 博
琉球王家秘伝武術「本部御殿手」 宮城 隼夫
中国と沖縄の交流
—医業について(2) 岩政 輝男
外国人訪問客が行き交う沖縄を夢
見て—沖縄における通訳案内士
の活動 上田 尚史
人・会のうごき／沖縄協会だより
／沖縄覚書

◆宮古郷土史研究会会報
〒906-0007沖縄県宮古島市平良字東仲宗根
42 県立図書館宮古分館内
TEL09807-2-2317
◇169 2008.11 B5 8p
11月定例会レジュメ
『御嶽由来記』を読む 本永 清
12月定例会レジュメ 「方言表記
の不思議な時代的勘違い」につ
いて 仲宗根浩二
「旧記」にみる伊良部島
—9月定例会のあらまし 下地 和宏
10月定例会のまとめ 外間遺跡発
掘調査の今後の課題 久貝 弥嗣
第3回市民総合文化祭開かれる—
郷土史部門・伊良部の史跡を訪

ねる 下地 和宏
第3回なりやまあやぐまつり
—本(むとう)島学習会も行う 下地 和宏
戦後宮古の「自治」の原点 黒柳
保則冲国大講師が講演／「狩俣
の伝承世界」シンポジウム
朝鮮人や戦犯容疑将校らの送還
敗戦直後の貴重な米軍関係資料
仲宗根將二
同人誌『宮古島文学』誕生—大城
立裕氏らが寄稿／『宮古の自然
と文化』第1集「追加補記」 仲宗根將二
第32回「郷土史講座」終了
県立図書館宮古分館 祖根 直樹
◇170 2009.1 B5 8p
1月定例会レジュメ
昔の子どもの遊び 上地 洋子
2月定例会レジュメ 伊良部佐和
田港奥におけるノッチ岩塊形成
速度の試算 安谷屋 昭
王府の地方支配の資料としての一
面を持つ『御嶽由来記』—11月
定例会より 下地 和宏
「方言表記の不思議な時代的勘違
い」について—12月定例会のあ
らまし 仲宗根浩二
第4号人骨・列状溝群の発見
—外間遺跡発掘調査速報 久貝 弥嗣
「狩俣の伝承世界」テーマに討論
エッセー集『続・言葉を紡ぐ』
故友利キヨ珠玉の遺稿集 仲宗根將二
インドネシア・展覧会の旅 仲間 伸恵
クイチャーフェスティバル08に思
う 下地 和宏
熱き思いを語る08年忘年会 下地 利幸
新版『宮古史伝』として
—30余年振り四度めの復刻 仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆南部の仏像 上北・三八地方寺社所蔵文化財調査報告書 青森県史叢書

青森県環境生活部県民生活文化課県史編さんグループ編 (〒030-8570 青森市長島1-1-1 県庁舎北棟3F TEL017-734-9238) 2008年12月 A4 287頁

平成8年度から始まった県史編纂事業によって収集された関連資料などを刊行する青森県史叢書。本書では南部地方の仏像悉皆調査の成果をまとめる。カラー図版／南部 三八上北地方の仏像／南部の仏像 調査作例編 (調査概要、調査地域地図、調査作例編 凡例、仏像仏画に関する用語 解説、仏像各部の名称、各作例)／主な銘文／調査作例一覧

◆鑄物の街川口の申し子 川口鑄物師鈴木文吾評伝集成—厚誼二十年の思い出と重ねてまるはと叢書9

岡田博著 (〒334-0013 埼玉県鳩ヶ谷市南1-5-5 電話048-281-4118) 2008年12月 A5 109頁 2000円 (発売：岩田書院)

国立競技場の聖火台製作者として知られる川口鑄物師・鈴木文吾氏の生涯や業績などについて書かれた諸作品を紹介する評伝集。川口鑄物史と人物／川口の名工鈴木文吾登場／川口鑄物史と鈴木文吾の存在／鈴木文吾講演筆記「心と技」／大熊晋一論考「物づくりの川口鑄物発展の軌跡」／宇田哲雄論考「川口鑄物における工場の創設について」より／鈴木文吾さんとの20年から／鈴木文吾鑄造作品所在地書上／補遺「供出」で消えた鐘のこと

◆語りの廻廊下 「聴き耳」の五十年

野村敬子著 瑞木書房 (〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤3611 TEL0466-47-1270) 2008年10月 A5 318頁 3500円 発売：慶友社 (〒101-0051 東京都千代田区神保町2-48 TEL03-3261-1361)

男語り (僧侶の口演童話、修験影響下の語り手、オンズ・四男の夢語り、ますらたけおの昔話、三男坊の昔話、書承昔話の可能性)／女語り (姉家督当主の伝承、家の霊性語り、「口語り」、出産の場と昔話の語り手、「ふるさと創生昔話」の語り手、外国人花嫁の語り、「多国籍社会日本」の昔話)／語り手へのまなざし (昔話の語り手)

◆皇族に生まれてⅡ—秩父宮談話集

井上久・蘭田稔・松平恒平・山口峯生・青木淳子編 渡辺出版 (〒113-0033 東京都文京区本郷5-18-19 TEL03-3813-2330) 2008年9月 A5 331頁 4500円

故秩父宮雍仁親王の随筆集『皇族に生まれて』(2005年12月)の続編として、『御殿場清話』(世界の日本社、1948年2月)と『英米生活の思い出』(文明社、1947年12月)を定本にまとめられた談話集。御殿場清話／英米生活の思い出／資料編／今に生きる秩父宮家の記憶(青木淳子)

◆清水斎兵衛家・下与市郎家・高橋仁左衛門家文書目録 府中市内家分け古文書目録12 府中市郷土の森博物館編・刊 (〒183-0026 東京都府中市南町6-32 TEL042-368-7921)

2008年3月 A4横 56頁

年1回刊行されている府中市内家分け古文書目録第12集として、本町 清水斎兵衛家文書(341点)、馬医心懸 下与市郎家文書(460点)、番場神戸 高橋仁左衛門家文書(103点)の史料項目を収録する。

◆代官 川崎平右衛門

府中市郷土の森博物館ブックレット10 府中市郷土の森博物館編・刊 (同上) 2009年1月 A5 72頁
平成20年度特別展「代官 川崎平右衛門—時代が求めた才覚の人—」にあわせ、府中出身の代官・川崎平右衛門の事績に関連資料とともに紹介する。押立村時代／武蔵野新田時代

／美濃本田代官所時代／石見大森代官所時代／平右衛門落ち穂拾い／『高翁家録』と『御代官 川崎平右衛門発起書』／武蔵野新田地図／展覧会出品資料一覧／参考文献

◆東京湾と品川—よみがえる中世の港町 品川区立品川歴史館編 品川区教育委員会 (〒140-8715 東京都品川区広町2-1-36 TEL03-3777-1111) 2008年10月 A4 128頁
品川区立品川歴史館の2008年度特別展の図録。中世の太平洋海運の拠点として繁栄した港湾都市「品川」の姿を、さまざまな資料を通して描き出す。東京湾の表玄関・品川 海からみた品川の景観／鎌倉時代に品川宿があった／東京湾の海の道／江戸に先立つ港湾都市・品川／中世の品川関連年表

◆野の学びの史譜 後藤総一郎語録 常民大学『野の学びの史譜』編集委員会編集 泉社刊 (〒133-0033 東京都文京区本郷2-6-12-203 TEL03-3812-1654) 2008年10月 B6 346頁 2500円 発売：新泉社 (〒133-0033 東京都文京区本郷2-5-12 TEL03-3815-1662)
故後藤総一郎氏によって全国に誕生した野の学びの場「常民大学」に学ぶ学徒40名が、自らの学びと生き方に多大な影響を氏の著作と生前の生きた言葉の数々を語録として編集し、その人と思想をあらためて世に問い直す。序 後藤総一郎さんを思う(鶴見俊輔)／民俗思想史の水脈(『柳田国男論序説』、『常民の思想—民衆思想史への視覚』、『天皇神学の形成と批判』、『柳田嶽の思想的展開』、『遠山物語—ムラの思想史』、『郷土研究の思想と方法』、『柳田国男論』、『天皇制国家の形成と民衆』、『神のかよい路 天竜水系の世界観』、『柳田学の地平線 信州伊那谷と常民大学』、『伊那谷の民俗と思想』、『柳田国男論序説』、『常民大学研究紀要1『柳田学前史』、『柳田学の地平線 感想文集』)／野の学びの道標／心に残る言葉／常民大学通信 巻頭言／講義録

／常民大学の軌跡(高橋寛治)／著作年譜(飯澤丈夫・松村玄太)／あとがき(久保田宏)

◆民家と日本人

家の神・風呂・便所・カマドの文化 津山正幹著 慶友社 (〒101-0051 東京都千代田区神保町2-48 TEL03-3261-1361) 2008年9月 A5 182頁 3800円
粥で祝う民家／棟木の力／雨のカーテン／極上の風呂と便所／火所と神

◆名産多摩川梨—80年の歴史とその起源を探る 改訂第2版

宮田豊著 (〒243-0813 神奈川県厚木市妻田東1-11-1-112) 2008年4月 A4 60頁
「稲毛梨」「稲城梨」など産地ごとの名称で呼ばれ出荷されてきた多摩川流域の梨が「多摩川梨」として統一されてから80年。古くから多摩川流域の産物であった梨の栽培と起源を、さまざまな資料から紹介する。2007年11月初版。幕府勘定吟味役金沢千秋・支配勘定大田直次郎 多摩川筋巡視二百周年記念。

◆合掌造り民家成立史考

佐伯安一著 桂書房 (〒930-0103 富山市北代3683-11 TEL076-434-4600) 2009年2月 A5 181頁 1905円

五箇山・白川地方の合掌造り民家の成立過程について、大窪大工集団の活動などとともに考察。合掌造りの研究史と考察／合掌造りの歴史(経時代的考察)／氷見大窪大工の活動／合掌造りの普請帳／合掌造り関係文献目録

◆獅子頭

福井県立若狭歴史民俗資料館編・刊 (〒917-0241 福井県小浜市遠敷2-104 TEL0770-56-0525) 2008年10月 A4 80頁
福井県立若狭歴史民俗資料館の特別展図録。若狭に残る獅子頭を中心に、世界各地にみられるさまざまな獅子舞・獅子頭を多数紹介。若狭路の獅子舞と獅子頭／黒い獅子頭／赤い獅子頭／鳥の羽根でおおわれた獅子頭／世界

の獅子頭・日本の獅子頭／描かれた獅子頭
◆身禄の聖仏―田辺近江家資料を中心に
富士吉田市歴史民俗博物館編（〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田288-1 TEL0555-24-2411）富士吉田市教育委員会刊 2008年10月 A4 60頁
富士吉田市歴史民俗博物館の企画展の図録。
富士山吉田口の御師、田辺近江家に伝来した食行身禄とその弟子田辺十郎右衛門の遺品類を中心に紹介する。富士行者食行身禄／身禄の装束／身禄の入定／弟子 田辺十郎右衛門／身禄の家族／身禄の遺物目録
◆富士山吉田口御師の住まいと暮らし―外川家住宅学術調査報告書 富士吉田文化財調査報告書6
外川家住宅学術調査会編（〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田288-1 富士吉田市歴史民俗博物館 TEL0555-24-2411）富士吉田市教育委員会刊 2008年3月 A4 296頁
平成17・18年度に行われた吉田口御師、外川家住宅学術調査の報告書。吉田口における富士信仰の歴史的展開／御師の社会組織／御師の一年と御師坊の機能／御師外川家の歴史／外川家住宅に関する建築史的考察／資料編（文字資料にみる外川家、外川家屋敷内の石造物、民具から概観する御師活動、外川家の彫刻と版本）／外川家有形民俗資料一覧
◆現代文 奇談 枕返し物語
付・神都長嶺記
茶醉軒著 石井昭郎編 伊勢民話伝説研究会（〒516-0028 三重県伊勢市中村町986）2007年8月 A5 135頁 1000円
享和2年(1802)に茶醉軒(下村尾山)によって書かれた伊勢古市(長峯)から宇治周辺の地を舞台に繰り広げられる藺田将監の牛鬼退治譚『枕返し物語』全文を初めて現代文と翻刻文にて収録する。長峰町のこと／中村道所々旧跡のこと／藺田将監先祖のこと ならび大楠

のこと／蛇女出生物語のこと／将監どの牛鬼退治のこと／百姓孫七ざんげ物語のこと ならび楠の木の間／将監どの元日神拝ならび法螺貝のこと／楠の木怪異のこと／七難が出世ならびに所繁昌のこと／後注／翻刻 枕返し物語／翻刻 神都長嶺記
◆増補改訂 南北朝期公武関係史の研究
森茂暁著 思文閣出版（〒606-8203 京都市左京区田中関町2-7 TEL075-751-1781）2008年7月 A5 573+19頁 9000円
南北朝成立前史（鎌倉後期の朝幕関係、後醍醐天皇前期親政期の記録所）／建武政権（建武政権の法制、建武政権の構成と機能）／北朝の政務運営（光厳上皇院政、後光厳天皇親政、後光厳上皇院政、後円融天皇親政、北朝の検非違使庁）／北朝と室町幕府（公武関係の緒側面、足利義満政権と伝奏）
元版は文献出版刊（1984年）。
◆大坂城再築城関係史料 大阪市史料71
大阪市史編纂所編 大阪市史料調査会（〒550-0014 大阪市西区北堀江4-3-2 大阪市立中央図書館内 TEL06-6539-3333）2008年8月 A5 184頁 1800円
大坂の陣後、元和6年(1620)～寛永5年(1628)に三期にわたって行われた徳川幕府による大坂城再築工事にかかわる諸史料を翻刻する。『新修大阪市史』史料編「大坂城編」以降の時代にあたり、本文編第3巻の典拠史料などを収録する。
◆近世の城南北平野町―上町にあった下町
大阪市史料72
大阪市史編纂所編 大阪市史料調査会(同上) 2009年1月 A5 173頁 1800円
豊臣秀吉の大坂城築城にあわせて城の南側に四天王寺へ通じる城下町が開発された。江戸時代に南北に分かれたこの平野町について、描かれた文学作品や諸史料を通じて近世の北平野町の魅力を紹介する。

◆交通・産業とくらし
―河内長野を中心にして
河内長野市郷土研究会編・刊（〒586-0032 大阪府河内長野市栄町21-11 椋本進方 TEL0721-52-3394）2008年12月 B5 269頁 2500円
河内長野を中心にして郷土の歴史・自然・民俗・金石文等についての研究活動をつづける河内長野市郷土研究会の会誌50号記念誌。創刊号(1968年8月)から50号(2008年4月)まで、交通・産業・くらしに関する論考を選びまとめる。なお、高野街道に関する論考をまとめた研究会創立40周年記念誌『高野街道―河内長野を中心として』(2004年12月)がある。発刊のことば(椋本進)／郷土研究会誌50号記念を迎えて(竹鼻康次)／交通(5編)／産業(7編)／民俗(9編)／年中行事(11編)／その他(8編)／河内長野市郷土研究会誌50号のあゆみ
◆生駒谷の七森信仰
今木義法著 生駒民俗会（〒630-0239 奈良県生駒市青山台342-93 TEL0743-76-7201）2008年3月 A5 190頁
奈良県生駒谷で古くから神聖視されてきた七つの森にまつわる七森信仰について、各地のモリ信仰や生駒谷の歴史・風土も交えながらわかりやすくまとめる。生駒谷の歴史と風土／モリの名称・所在地・現況・伝承／モリの

形態／モリ信仰の内容／モリの崇りと加護／各地の七森神社・七荒神／モリ信仰の成立と七という数
◆魂の古代学 問いつづける折口信夫
新潮選書
上野誠著 新潮社（〒162-8711 東京都新宿区矢来町71 TEL03-3266-5111）2008年8月 288頁 1200円
魂の学 折口信夫の棺を蓋う／神と天皇 ぶきょうに、したたかに生きる／抗議する詩人 静方だが呪うように／みんなの万葉集 悪戦苦闘する若き古典教師／芸能を裏側から視る 折口信夫の誕生
◆本山修験 飯隈山蓮光院史料
首藤善樹編 至言社（〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-36 ペリカン社内）2008年9月 A5 636頁 8500円 発売：ペリカン社（TEL03-3814-8515）
西国唯一の聖護院本山派修験であった薩摩飯隈山蓮光院について、文保元年(1317)から明治2年(1969)に至るまでの関係文書五百数十点を収録する。序文(宮城泰年)／個別史料(飯隈山由緒札帳、蓮光院霞下人別帳、諸門中人別帳、院家院室末寺修験頭分書上帳、曾木文書、森御殿命令帖)／編年史料 文保元年～明治2年／付録(原本影印史料)

◆後記
前号で、「野外凝視」に基づく独自の「風土論」を確立し、「地域の力」による人づくりを実践した長野県諏訪中学校教諭 三澤勝衛に触れたが、本号で紹介した栃木県歴史文化研究会報「歴史文だより」掲載の竹澤誠氏の論考と合わせて、地域における教諭の役割について、改めて考えさせられた。長野県では、明治19年に教育職能団体として設立され現在まで続く信濃教育会が、戦前から風土に根ざした『理科学習帳』を、戦後には国語と理科の教科書を発行した。身近な地域の材料をもとに、教諭自身の手によって教材を作成したのである。初等・中等教育においては、たとえば、社会科であればまずは郷土史、家庭科であれば郷土料理といったことから始め、日本(史)、世界(史)へと相対化、普遍化していくべきではないだろうか。それには、何より三澤のような人材、竹澤氏のいう「教師力」が求められるのである。(飯澤)

地方史情報 093 2009年(平成21年)9月 発行 <http://www.iwata-shoin.co.jp>
定価0円(送料90円) 年間購読料 税込1000円(送料として) 振替口座00100-2-564137
発行所：岩田書院 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757